



平成23年度 町長と語るつどい まとめ

平成23年6月30日 ～ 9月9日 実施【22会場】

【質疑 ・ 要望 ・ 意見提言】

全 367 件

平成23年度町長と語るつどい意見集約 目次

質 疑 【当日回答】 集	1 ページ
質 疑 【後日回答】 集	36 ページ
要 望 【長期的】 集	54 ページ
要 望 【短期的】 集	60 ページ
意 見 提 言 集	70 ページ

平成23年度 町長と語るつどい 意見集約

質疑【当日回答】集
全 175 件

平成23年6月30日 ～ 9月9日 実施【22会場】

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	1	竹野基幹集落センター	土木建築課	パーキングエリア施設について、大きな建物が無駄になり効率が上がらないのではと心配。知恵を出し合い考えてほしい。	多額の投資になるので、これも慎重に、一つひとつ積み上げていきたいが、京都縦貫道が開通してからでは、間に合わない。将来的には、ETCで利用可能なスマートインターチェンジを考えている。	11月9日に最終の基本計画策定委員会が開催され、その結果をふまえ基本計画を取りまとめました。委員会の中でも採算性の課題が最重要視されおり、事業収支を検証し、適正な施設規模としております。
丹波地区	2	竹野基幹集落センター	総務課	京都府より土砂災害の説明会があったが、この竹野基幹センターは、災害時2次避難所になっているにも関わらず、危険箇所になっているとの説明で、住民は、心配と不安を抱いている。緊急に取り組んでほしい。	住民の方々に不安を与えては・・・一人でも災害から守るためため、災害パトロールを実施している。和知地域でも公民館が避難所になっているが、災害危険箇所がある。実際に災害訓練を実施するよう指示している。 土砂災害防止法の改正をうけて、京都府と現地視察実施。法的に危険区域の調査等行ったが、住民の方々の不安をあおることではなく、警戒を怠らないよう、住民の方にも意識を改め、森林の地力を高めるなど、総合対策として、啓発し、積極的な施策を講じて参りたいと考えている。安心安全な町づくりを進めていく。	当日回答のとおり なお、土砂災害の発生が予測される場合は、危険箇所外への避難を勧告又は指示することになります。
丹波地区	3	竹野基幹集落センター	企画政策課	中学校の下校時のバス通学について、12月～2月まで実施しているが、11月からにしてもらえないか。また、3年生と1～2年生では、クラブ活動など違い、ニーズにあっていない。	検討します。	バス通学の時期の決定については、教育委員会・中学校が決定される事項でありますので、決定されたとおりに町営バスは運行させていただきます。 学年のニーズにあった運行が出来るよう今後検討いたします。
丹波地区	4	竹野基幹集落センター	教育委員会	中学校給食について、子どもたちの中には、弁当を希望している者もいるが、選択性はできないか。	地元産の食材を使用し給食を提供する。郷土愛を育むためにも京丹波町の水や食物を給食で食する。将来、子ども達が、京丹波町へ帰ろうかと思うように。 平成25年度実施を目途に進めている。弁当を楽しむにしている児童もあらうと思うが、食育の一環として、一斉給食を実施。選択制は考えていない。	当日回答のとおり
丹波地区	5	竹野基幹集落センター	教育委員会	猛暑の中、クラスにエアコンも無く、扇風機を1から2台で対応している児童に対して、授業中のうちわや扇子の使用を許可できないか。	うちわや扇子を使うことで授業に支障のないように学校と相談。扇風機を増やすように考えている。	まずは、図書室や音楽室など特別教室のエアコンについて、整備を進めているところであります。普通教室については、扇風機の増設を行うなど暑さ対策を行っています。が、将来的な設置について研究してまいります。
丹波地区	6	竹野基幹集落センター	土木建築課	新規事業のパークエリアについては、大きな財源を必要とする。不安定な社会情勢の中、費用対効果は？	費用対効果を考慮して対応。	今年度、策定した基本計画で施設整備、運営による経済波及効果と事業収支を検証し、適正な施設規模としております。
丹波地区	7	竹野基幹集落センター	土木建築課	パーキングエリアは、町の施設としての開発か。縦貫道の併設で、区域だけが違うのか。	パーキングエリア所有区分は別。ハイウェイオアシスを目指している。自動車道と一般道は別。	パーキングエリアは道路付属施設であり、道路管理者の施設。そこに隣接して地域振興施設を整備し、縦貫道、一般道からもアクセスできる施設とします。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	8	竹野基幹集落センター	土木建築課	丹波PAについて、丹波自然運動公園へ直接行けるルートがあればうれしいと思うがどうか	難しいことではあるが、それをするのが仕事。一生懸命難しいことをするのが、生きがいなので、実現に向けて頑張る。	当日回答のとおり
丹波地区	9	竹野基幹集落センター	産業振興課	有害鳥獣対策での網を使う方法は	この網を仕掛ける方法は、ドロップネット方式と言いい、網を仕掛けて一網打尽にできるものといわれているが、失敗例が多く、ほとんど失敗している。猟友会の支援を受けて、本年度、安井地区で取り組む予定である。	塩田谷区と安井区の要望を受けて、実験的に実施します。本年度は資材を購入、来年度から捕獲の取組みを始めます。
丹波地区	10	竹野基幹集落センター	総務課	原子力の問題、関心があるが、詳細不明で、20km範囲はどこまで入るのか。情報提供してほしい。	色々とご提言をいただいた件、早急に実施したい。	20km範囲については、仏主区一部(山林)であるが被害の拡大等影響を考え、平成23年10月17日に和知北部地域を対象とした住民説明会を実施しました。今後、国の動向を見ながら、京都府など関係機関と連携して原子力防災対策を進め、住民避難計画等の策定後には町民への広報等を行います。
丹波地区	11	竹野基幹集落センター	産業振興課	観光協会設立の呼びかけはあったが、町民へ申込書の配布がなかった。	色々とご提言をいただいた件、早急に実施したい。	会報を発行・全戸配布し、観光協会の取組状況を町民の皆さんにお伝えするとともに、多くの方々に会員となっただけのように引き続き努めてまいります。
丹波地区	12	曽根公民館	土木建築課	畑川ダム建設工事の進捗状況を教えて欲しい	9月7日に定礎式が予定されている。下部工として、コンクリートを打ち始めた。完成は、24年度末の予定である。ダム湖の周辺整備について、検討委員会を設置し、検討している。	定礎式は11月28日に行われました。
丹波地区	13	曽根公民館	土木建築課	温泉掘削されたが、現在どのような状況になっているのか。	現在事業は進んでいない。引き続き(温泉事業を)やっという気は一切無い。温泉事業を行ったとしても、町外から来てもらってまでの事業はせず、地元地区の方々、全町民も含め使用してもらうものであれば進めればよいと思う。多くの住民が利用するになれば、自然と町外からも来られるようになる。そういうお金の使い方をしたいということを、地元協議会にもお話した。地元としてもそれほど強い要望になっていない。	当日回答のとおり
丹波地区	14	曽根公民館	土木建築課	ひかり小学校下の公園は、どういう目的で誰が利用されるのか。また、管理はどうされるのか。	一部工事が完成していないが、(公園内へ)入っても差支えない。今年度中に完成します。公園事業は、案外補助率が高く、持て余していた塩漬け土地の解消を目的に進められてきており、継続事業として取り組んできた。大々的に完成式典はしないが、完成すればご報告する。	平成23年度において基幹事業が完了し、平成24年度において効果促進事業として案内板等の設置を行います。平成24年度において、照明灯や便所の点検を行った後に供用開始とする予定です。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	15	曾根公民館	総務課	高齢化社会となり益々税収入が減り、交付税等に頼らなければならないと思う。今後、若者が定住し税収が上がり、自主財源を確保することができるかについて、どのように考えておられるのか。	高齢化になると、免除しなければならないこともある。その分、新しい住民を迎えることが一番大事である。また、多くの税金を納めてくれる企業をお迎えすることがもっと大事だと思う。畑川ダムが完成するので、いよいよこれから、企業や住民をお迎えできる時期が来たと考えている。しかし、財政運営は慎重を期さなければならないという思いでもある。	安定した行財政運営を推進していくため「京丹波町総合計画」に基づいた事業推進を図ります。また、財源の確保については、「行政改革大綱」に基づき、徴収率の向上などの自主財源確保対策や経常経費の削減などの歳出規模抑制に向けた取り組みを鋭意実施しているところであります。
丹波地区	16	曾根公民館	土木建築課 企画政策課	町営バス運行路線は、一部は町道だが一部は農道で残っていると思うが、地元区長等に図面できちっと説明できているのか。約20年前に地元受益者が補助金をいただき出来た広域農道になぜ町営バスが走るのか。農道を町道に整備してから(路線として)使用すべきではないか。	農道を町営バスが走っているということは聞いた。法律違反があれば具合悪いと思いつつ、町民のためと思い寛大に見守っていきたいと思っていたが、誤っていれば即刻改めたい。農道を町道認定することについてですが、地元区長から要望が出れば、早速取り組むように指示をしたいと考えている。	現状、すべて町道路線を運行することは、幅員もなく運行不可能な状態です。町営バスとして一部町道、一部農道の道路を運行することを運輸局に届けをしており、許可をいただいて運行していますので、問題はありません。皆さんの利用される公共交通機関でありますので、ご理解をいただきたい。
丹波地区	17	曾根公民館	教育委員会 土木建築課	奥宮岩山神社(塩田谷地内)の神木杉が(府の天然杉として)指定を受けたが、説明の看板も何も無い状況である。また、(その神社の前を通る)9号線(高岡塩田谷線)は2級町道となっているが、約300メートル区間がなぜ舗装できないのか。府道松山須知線から須高下の国体橋(豊田地内)まで、また安井の旧鶏舎の区間まで2車線の町道となった。行く末は、府道に昇格してもらおうという願いで、難しい問題をば場整備に伴い整備し、河川沿いに付け替え少しでも経費を削減しようという思いで、町道を整備してきた経過があるが、ご存知なのか。	指定を受けた理由などを説明した看板について、今後新たに指定されるものもあるので、その際、併せて検討したい。舗装の件ですが、知っている場所であれば見に行き、事業効果があるかを判断し即答している。いろんなことに税金を使わせてもらうので、公平、公正にきちっと実施していく考えであり、現場を説明していただいた上で取り組むということになると思う。	当日回答のとおり
丹波地区	18	曾根公民館	総務課	土地開発公社にまだいくら残っているのか。	土地開発公社の残高は、平成22年度末で約20億4,800万円です。	当日回答のとおり
丹波地区	19	曾根公民館	教育委員会	併せて、(須知)幼稚園(行事などの祭に保護者の車を停めることができる)の駐車場が、(須知の)公園内に整備されているのか。	狭い場所のため、実際苦勞している。公園には駐車場を整備しているが、幼稚園専用ではないので、幼稚園の大きな行事がある場合は、そこも活用できるような形で検討していきたい。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	20	曽根公民館	産業振興課	5箇年計画で間伐材を流出せよという方向に国が制度改正した。ペレット製造について、京北町は全て国の負担で施設を設置したと聞いたが、本町においてもそのような方法で山林を守っていくための大きな柱となるよう期待している。また、亀岡市では、竹を粉砕して土壌改良剤として使用している。町外業者による上豊田地区の間伐作業等は、とてもきれいな作業内容である。これを見ると、町の森林組合作業員の弱さが出てきているのではないか。また、有害鳥獣の捕獲、防除ばかりではなく、森林を整備し新芽を育てることも大切であり、そのための手立ても大切であると思う。	生産森林組合等関係団体が森林組合と連携している。様々な制度を活用して取り組んでほしいと考えている。木質ペレット、チップや芝や炭にする方法もあるが、この町に合った森林政策を実施していきたい。ペレット製造施設を全額国の負担で実施できる事業は聞いていないので、本町で設置するまでには至っていないが、その代わり薪ストーブを公共施設3箇所を設置する予定である。良ければこの町で普及していきたい。財源も豊かでない町なので、先頭を走って失敗するよりは、成功したことを真似すれば良いという一貫した姿勢で運営していきたい。	新たに木のぬくもり活用推進事業を推進していきます。本年度は、木質資源循環型利用の仕組みづくりの一環として、ウッドボイラーをグリーンランドみずほの宿泊施設に設置して間伐材の活用策を見出すこととしています。また、併せて薪ストーブ設置も実験的に取り組んでいきます。
丹波地区	21	曽根公民館	土木建築課	曽根区の一帯の現状課題は、仮称パーキングエリアであるが、地権者の理解が必要である。また範囲も決まっていないので、地権者も決まらないかもしれないが、23年度中に計画策定委員会或いはワーキング会議で詰まってくる。24年から用地交渉というスケジュールになっている。地権者がご心配をされているので、説明できる範囲で町長の決意をお聞かせいただきたい。	いろんな情報が流れる前に、地権者の方々に説明・相談・お願いしたほうがもっと皆さんに受け入れられるという提言をいただいたわけですが、私もまったくそのとおりだと思っている。今日の時点で、まだ用地の場所等が確定してないと理解して欲しい。縦貫道工事で施工する範囲が確定するとそれ以外を町負担で施工することとなるので、その時点で地権者の方にお問い合わせすることとなる。	用地買収の範囲が決まっておらず、具体的交渉は行っていないが、すべての地権者に対し個別に事業説明を行っています。今回の計画は将来の京丹波町にとって不可欠な事業と考えます。
丹波地区	22	曽根公民館	土木建築課	地権者に何も話が無いのに策定委員会やワーキング会議を開催している。というような意見が地元の会議で出た。構想段階でいいので、地権者だけを集めて誠意ある説明をしていたら良いのではないかなと思う。	即、説明会を開催させていただきたい。区長様にご相談し開催させていただきますので、よろしくお願いします。	地権者全員に個別に事業説明を行ないました。(8月31日から9月20日まで)
丹波地区	23	曽根公民館	教育委員会	京都新聞に学校給食施設についての記事が掲載されていた。旧瑞穂病院を取り壊し、その跡地に給食棟を建てるというように書いてあった。どこまで進んでいるのか、どこに設置されるのか。	学校給食検討委員会で検討いただき、できるだけ早く完全学校給食を実施すべきという提言もいただいた。町長からも25年を目途に中学校の完全学校給食を実施するという方向を出してもらっている。その方向で進んでいる。場所については、町有地を活用することが望ましいという提言もいただいた。現時点では、ここに建てるということは決定していない。候補地のひとつとして瑞穂病院跡地が挙がっており、取り壊し経費が今年度予算に計上されている。和知に給食センターがある。丹波にも給食センターがある。給食未実施の瑞中・蒲生中、給食室が老朽化している瑞穂小を賄うための給食センターを建設していくことになっている。	新給食センター建設基本計画(平成23年8月)を策定し、建設予定地は、旧瑞穂病院跡地とし、蒲生野中学校・瑞穂中学校・瑞穂小学校の給食を調理する給食センターを計画しています。建設スケジュールは、平成23年度実施設計、平成24年度建築工事、平成25年度から給食実施の予定です。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	24	曽根公民館	保健福祉課	介護の包括ケアシステムとは、具体的にどのような内容なのか。	現在、医者が不足しているが、医療、介護などを専門家に全て任せるのではなく、地域全体で見守ったり、医療機関に通報するなどみんなで関わってこういう計画をこれから作っていききたいと考えている。地域全体をひとつの病院に見立てる。府内でも本町が先進的に取り組もうとしている。今後、会議を立ち上げ具体化を図っていききたい。	高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、安心して生活が営めるよう、医療、介護、保健、福祉の各サービスが切れ目なく提供される包括的なシステムを構築していこうとするものです。府内でも本町が先進的に取り組もうとしており、今後、ネットワーク協議会で具体化していきます。
丹波地区	25	中央公民館	企画政策課	区ファックス導入についてがんばっているところではあるが、半分くらいしか設置されていない。	ファックスについては、いち早く設置してもらえように注文をつけてもらい、また、安くなったので設置していただけるものと思っていたが、役場が表に立ってスムーズにいけるように考えてみたい。	丹波地域においては、従来の各戸FAX機能を維持しようと各区色々工夫をされているようです。例えば、廃止される丹波有線FAX機を必要な家庭には残して、全戸FAX化を図られたり、また、区が補助をして新たにFAX機を購入して全戸に配布されたりしています。今回、各公民館に配備させていただいたFAX機は、役場と区の連絡用FAX機として活用いただくことの他に、約250件まで一斉送信ができる機能を持っていますので、区において各戸の連絡用FAX機として活用していただくことができます。できましたら、区において検討いただきご活用いただければと考えます。
丹波地区	26	中央公民館	総務課	旧高原小学校の跡地利用の見通しは。ビジョンダンマークの建物はどのように利用されるのか、利用されないのであればどのような手立てを考えておられるのか。	高原小学校の跡地については活用を考えている。来年には(活用方法を)具体的に言えると思いますのでよろしくご理解願いたい。ビジョンダンマークについては、撤去するしかないと考えている。時期については決まっていない。	当日回答のとおり
丹波地区	27	中央公民館	総務課	ふれあい広場は、グラウンドゴルフの利用者は年数千人の利用がある。トイレは2基(男女1基づつ)しかない。これではとても間に合わない。まして高齢者の利用が多いので間に合わない。簡易トイレを設置していただくことはできると思うが、早急に対応してほしい。	ふれあい広場のトイレについては従来の数に戻すようにトイレを造ることで指示しています。	現在故障している浄化槽について更新を行うこととし、従来どおりビジョンダンマーク内のトイレを利用いただく計画です。 なお、本年度においては、使用されていない簡易トイレを利用して応急的に設置しました。
丹波地区	28	中央公民館	総務課	迎賓館(デンマークハウス)ももったいないもので、利用もどのように考えておられるのか聞かせてほしい。	デンマークハウスについても今後の使用方法是考えていません。ビジョンダンマーク付近は、町としても積極的に活用していききたいと考えています。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	29	中央公民館	企画政策課	町長の考え方として、区の中にある組の在り方について何を期待されているのか意味、役割を聞きたい。	区を構成する組について、非常に思い入れがある。私自身和田区の1組というところに属しており、年12回の行事は全て出席している。これが地域だと考えています。組の中で常会をしています。集金常会で伝達事項は15分くらいで終わり、後の1時間くらいは懇談をします。組の中では積極的に話がされ、組というのは非常に大切であり、社会を構成する原点だと思います。行政の下請けではないと考えます。	町長の当日回答のとおり。組、区は社会構成の原点であり、最も身近な住民自治です。区は、隣組で構成する「組」の集合であり、地縁の自治組織ですので、行政が直接関与するものではありません。しかし、高齢化、少子化が進む中であって、昔ながらの地域行事も難しい現状にある今日、行政と地域が知恵を出し合い地域が活性するまちづくりを進めていく必要があると考えています。
丹波地区	30	中央公民館	総務課	高原小学校の草刈について、周囲の草が刈って、グランドの中付近は草が刈っていない。あの意味は何なのだろうか。	旧高原小学校の草刈についてはどうであったか調べたい。	シルバー人材センターに年2回程度の草刈等作業を委託しているところですが、民家周辺を中心に対応しており、中央部は必要に応じ対応しています。今後も適正管理に努めていきます。
丹波地区	31	中央公民館	企画政策課	夕陽丘(団地)には、集まる場所がないので自治会はできないのではないか。きじヶ丘自治会については、どのように考えておられるのですか。	きじヶ丘には自治会があると認識していた。夕陽丘についても調査をして、できることがあれば支援していきたい。	昨年、夕陽丘(きじヶ丘)団地に自治会を組織するための相談が企画政策課地域支援室にありました。「自治会は、行政が主導して組織するものではなく、そこにお住まいの住民の方の話し合いによって進められるものです。何でもお手伝いします。」という内容でお話をさせていただきました経過があります。また、なんなりとご相談ください。
丹波地区	32	中央公民館	産業振興課	有害鳥獣被害で鹿などが来て困っている。猟師さんも高齢化である。いっそう自衛隊に頼み山狩りをしていただきたいぐらい。鹿、猪の外に小動物の駆除のために、ワナをかけ蒲生区の中で田畑を守ってくれる人を許可してもらえば助かる。	(鳥獣被害について自衛隊に頼むこと)知事は、そこまでは言わないが、警察OBとかの利用を言われておられる。鹿は射殺しかないと思う。自衛隊に頼むのはむずかしい。小動物をとるワナは猟友会に依頼している。猟友会の方に、相談してほしい。	シカ、イノシシは、わなと銃器による捕獲に努めています。小動物、特にアライグマは、町民の皆さんの要請により捕獲従事者として指定した町職員がオリを設置し捕獲を行っています。
丹波地区	33	中央公民館	水道課	下排水施設の草刈を燃料持込で過去には町から依頼され一人に対応してきたが、時の町長に日当を15,000円から12,000円に下げられた。今は5～6人来て、1日かかってやっておられるがどうなのか。	-	旧町(丹波町)時代には、地元参加の農村型下水道という観点から、管理組合を地元で組織し、施設の日常管理(草刈含む)を担って頂いていましたが、高齢化等の時代の流れの中、この業務も町で行うべきとの要望もあり、個人への委託で草刈をお世話になった経緯があります。(当初の委託費用は、下水道担当課独自の単価基準でしたが、途中から町で統一した単価に切り替えられました。)近年においては、高齢者等の雇用の安定を促進する観点からシルバー人材センターへ業務を委託し、施設を管理しているところでもありますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	34	中央公民館	教育委員会	成人式のことについて、今年は和知で行ったが、雪の多いところでなぜ行うのか。順番になっていると聞くが、合併して6年経つのに、中央公民館で実施していただければいいのではないかと。	気持ちはわかりますが、もう少し旧三町が仲良くなるまで、今しばらくこのスタイルで行きたいと思います。	合併後は、新成人及びご家族、来賓等の人数が増え、中央公民館では入りきれないことから、和知ふれあいセンターと山村開発センターみずほの2会場を交代で開催しているのが現状です。
丹波地区	35	中央公民館	企画政策課	町長と語るつどいの資料3ページ(厳しい京丹波家の家計の表) この書き方しかできないのか。もう少し、わかりやすい(現実にあった)表現にできないのか。	私も変な表現であると思っていた。今年度はこれでいかしてもらうが、(来年度以降)検討したいと思います。	来年度資料を作成する際は、分かりやすい表現になるよう工夫したいと思います。
丹波地区	36	中央公民館	土木建築課	旧丹波町時代に1億円かけて、温泉を掘った結果を聞きたい。	(温泉の)活用はしない方針でいます。1億使った8割位は、色々な助成を受けて実施。時の町長は期待されてされていたと思うが、温度は26度しかなく、常に沸かさなくてはなりません。下山地区の人あまり歓迎ムードではない。足湯ぐらいならと提言したが、積極的に「よしやろう」という方向ではありません。結果的に温泉施設はつきりません。	当日回答のとおり
丹波地区	37	中央公民館	医療政策課	医師確保奨学金は、月15万円で1年で180万円。1人180万円で医師になれるのか。この冊子で「注目」されて書くものではないのではないかと。	月15万円を貸与するもので、5年間医師として京丹波町の病院で働いていただければ、返さなくてもいいという制度です。これは奨学金を受けた医師らに帰ってきていただくという趣旨です。	当日回答のとおり 医師不足に対するの対策を、色々な場面で少しでもPRしていければという思いです。
丹波地区	38	中央公民館	医療政策課	医師の奨学金を利用されている人はいるのか。	中部・中丹地域の高校周りもして広報や依頼もしているが現在のところない。京都市内には多数の医師がいるが亀岡以北には医師は少ない。京都府にも同様の奨学金があり、町の奨学金と合わせると30万円になる。今後も啓発していきます。	当日回答のとおり
丹波地区	39	中央公民館	土木建築課	パーキングエリアだけでは通りすぎるのではないかと。	(パーキングエリアに)隣接して地元施設を造りたい。PAエリアだけではだめで、隣接して地元振興の施設を造りたい。PAはトイレだけではなく、府道(丹波～桧山)からも乗り入れ可能な施設を目指す。将来はハイウェイオアシスを目指している。スマートインターチェンジを付けて丹波自然公園にも入れるようにして自然公園から9号線を通り帰ってもらうようにする。本町に出展いただく事業所を現在探しているところです。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	40	上野住民センター	産業振興課	有害鳥獣対策で、ドロップネットが有効で、新聞に東近江市の例が紹介されていた。本町でも現在実験中とのこと。全町的に広めていただきたい。	ドロップネットについては、議員からも提案をいただいている。安井地区からの要望に基づいて、ドロップネットの実験を行っており、よい結果が出ることを期待している。	当日回答のとおり
丹波地区	41	上野住民センター	産業振興課	昨年10月に実勢地内にクマが出た。昼頃からの対応であったが、射殺やむなしとの決定は、夕方暗くなってからであった。動物保護の観点は大事なことであるが、人命は何より優先されるべき。人命を守るためのスムーズな対応を望む。その後、京都府等との話し合いはどのようにになっているのか？	ツキノワグマは、本来保護すべき動物に指定されているが、昨年10月には、人命を優先して射殺やむなしとの判断に至るまで、警察や京都府など関係機関が好意的に取り組んでいただいた結果であったことをご理解いただきたい。	昨年度、出没が多発したことを踏まえ、捕殺等の許可権限が京都府庁から振興局に移され、現場からの状況報告等により、じん速な対応ができるように改善されました。
丹波地区	42	上野住民センター	総務課	自主防災組織が平成22年度にスタートした。消防団の後方支援との考えで、町から示される規約等に則って行きたいと思っていた。しかし、区長会で示された規約ひな形では、後方支援というより、消防団と変わらない感じがした。消防団との違い、連携のあり方等について、指示をいただきたい。	自主防災組織の組織化に向けて進めていただいているところである。消防団員は仕事を持ちながら、地域を守るために頑張ってくれているが、負担が大きいことから、地域の皆さんにも一緒になって守ってほしい。消防団との連携と後方支援が大事である。規約ひな形に疑問があれば、役場で練り直す必要がある。	当日回答のとおり 規約ひな形等については、点検を行います。
丹波地区	43	上野住民センター	企画政策課	資料P10のCATVについて、各地域における加入数は？デジタル対応の出来ていない世帯はないのか？	本町の世帯数約6,400世帯のうち、丹波地域で2,970件、和知地域で1,500件、4,470件の申し込みをいただいた。従前の瑞穂地域1,800件の申し込み件数を合わせると6,270件となる。グリーンハイツでは、民間事業者によるテレビが映るため、そちらを利用されているのが約200件ある。あわせると、ほぼ世帯総数となる。しかし、集合住宅、事業所、常時住んでいない方からの申し込みもあり、全ての住民登録世帯ではないが、町内在住で加入申し込みをされた方の工事はほぼ完了している。	当日回答のとおり
丹波地区	44	上野住民センター	医療政策課	「ドクター確保は難しい」との話であったが、町長選挙のときの公開討論会では、「医者連れてくる」と言っておられた。奨学金制度の話もあったが、その後の流れとしてそうだったのか？	選挙の時の話と違うのではないかとということかと思うが、和知診療所へ医師を呼ぶのは難しいということである。京丹波町病院へなら医師を派遣してもらえ る可能性があるため、診療所も含めた病院機構に変えている。 現状として、常勤医師は、京丹波町病院の3名のみである。しかし、非常勤医師等は、府立医大から派遣してもらっているし、独自ルートでも2名を確保した。府立医大にも積極的に働きかけ、現状を理解してもらい、非常勤医師の派遣は増えている。医師確保は、あと一息というところである。	当日回答のとおり。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	45	上野住民センター	産業振興課	「食の祭典」について、旧丹波町には「食彩の工房」があり、当初は町職員が対応していたが、今は指定管理になっている。特産品の開発など、食彩の工房と同じようなことをするのか？	食彩の工房は、町の特産品、食材を使つての製造・販売をするもの。指定管理制度については、行政が直接行うよりも事業効率が良く、新しい管理方法である。「食の郷プロジェクト事業」は、事業者が町産品を使ったメニュー化を働きかけるものである。	食の祭典は、11月6日の国民文化祭と同時開催し、地元産品を使った料理や加工品、郷土料理などを販売するので、今年が初めての取り組みとなります。来年以降も継続して開催できるように取り組んでいきたいと考えます。
丹波地区	46	上野住民センター	土木建築課	開発プロジェクト推進室が設けられたが、丹波パーキングの構想について、多額の費用がかかると思われるが、その費用に対しての収益見込みがあるのか？	通りすがりの町にならないように、まずは「作ること」が必要だと考えている。あとは、次の人の取り組み次第である。15億円が20億円になったとしても、長期的に考えて、年1億円は何とかしてほしいものである。計画策定にあたって多くの人に議論してもらい、議会に諮り、区長会に説明等を行ったうえで、広く説明していきたい。	基本計画策定委員会の中でも、多額の費用を要することや、オープン後採算性については議論の中心となっています。有利な補助金を活用するとともに、採算性についても様々な角度から検討を行なっています。
丹波地区	47	上野住民センター	総務課	自主財源が少ないとの説明があったが、人口減、少子化、高齢化、独居の増など、町税を納める世帯が少ない。その原因は、働く場所がないこと。定年になっても帰ってこない世代になっている。未来に繋がる、夢のある予算があるのか？地域に残っている人や地元企業への支援、残る人を増やしていく政策や予算を考えてほしい。	バラ色の予算だと自負している。須知高校通学支援、子育て支援にも力を入れている。出産祝い金、チャイルドシート補助金を堅持しており、他市町よりも充実している。ファミリーサポートセンターの立ち上げも準備中であり、男女共同参画社会として、女性が働ける環境を作ることで、子どもを産み育てやすい環境を整えたい。畑川ダム事業は、水不足に苦しんできた丹波、瑞穂地域の水を確保するために、投資しているもの。企業の業務拡大も予定されている。丹波パーキングは、他の町にはないもので、兼業農家を支援していきたい。浅田農産跡地を始め、合併で不要な建物等が増えている。先送りしてもダメで、しなければならないことは、きっちり行い片付けていくこと、古いものをなくすことは、未来への投資である。また、伝統を守ること未来へ繋がることだと考えている。医師がいないことが不安となり、不安であるが故に町民が仲良くなれない。その不安を取り除くことで、オール京丹波という気持ちになれる。町長としての想いは今も熱く燃えており、明確に打ち出している。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	48	上野住民センター	企画政策課	丹波マーケスのモリイ撤退後、スペースが空いている。コメリもあるが、丹波マーケス内にホームセンターがあったほうが良いのでは？	色々と問合せがあり、町内で2軒のホームセンターは成り立たないとはわかっていたので、進出は待ってほしいと言ったところ、コーナンは理解していただけたが、コメリは開業された。モリイは、採算が合わなくなり撤退となったというのが事実である。丹波マーケスは、秋には大改装の予定であり、今後も、頑張っていく。マーケスは、出資は受けているが、行政から補助金はもらっていない。	当日回答のとおり
丹波地区	49	上野住民センター	医療政策課	病院を自治体が経営するのは、一般会計の負担が大きくなるのではないかと。住民は、他の総合病院にかかっているのが多いのではないかと。地域医療は大事であるが、大江病院のように民間へ指定管理することも考えられる。今後も、ずっと自治体病院を続けるのか？	現状、続けざるを得ない。瑞穂、和知地区では、病院への要望が強い。丹波笠次病院と明治国際医療大学附属病院が近くにある丹波地域との差でもある。病院事業をどうするかというのは、住民が納得されたときの判断である。	当日回答のとおり
丹波地区	50	健康管理センター	企画政策課	ケーブルテレビのメンテナンスの状況はどうか。休日でも対応できる体制なのか。地域包括ケアシステムを導入するとすると、休日・深夜の対応が課題と思う。	町職員は勤務時間内で対応している。保守管理は、外部委託しており24時間体制をとっている。包括ケアシステムは、24時間体制のことを含めた実証実験に取り組む。	当日回答のとおり
丹波地区	51	健康管理センター	産業振興課	空き家情報バンク制度について、農業をすることが条件となるのか。現在の状況は。	農業の担い手確保、耕作放棄地の解消などを目的に産業振興課で担当している。田舎暮らしの希望者は多いが、まずは、地域に溶け込んでいただいて、地域の担い手の一員となってもらうことを前提に対応している。現時点の状況は、9登録中、成立1件、協議中2件である。	当日回答のとおり
丹波地区	52	下山集会所	教育委員会	地元中学校からの須知高校への入学が減っているが。	高校入学の選択肢が広がっている。地元中学生は7～80％程度となっている。地元通学補助を行っているが、今後は中学校と高校との連携を密にしていきたい。	当日回答のとおり
丹波地区	53	下山集会所	産業振興課	前回のプレミアム商品券は1業者が買い占め直ぐ無くなったが。	事業主体が商工会であり不正があれば調べてみるが私は聞いていない、数量的にも事業要望があれば積極的に取り組む。	買い占めを防ぐため商品券の購入は一人3万円が限度となっており、買い占めることは困難であると思われます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	54	下山集会所	産業振興課	有害鳥獣対策で下山はサルに困っている。以前に調査があったがフィードバックが無かった。サル対策を考えてほしい。	調査等も含め京都府を中心に頑張っているが、最近サルも増えてきており、地域の状況に合った対策に努めたい。	当日回答のとおり。
丹波地区	55	下山集会所	総務課	財産区について、和知地区は無く、瑞穂地区は高額予算であり、内容を説明してほしい。	山林を丹波地区は生森で管理しており、瑞穂地区は殆どの山林を財産区で管理しており、道路用地の買収などで予算も高額となっている。	財産区とは、特別地方公共団体として位置付けされ、特に瑞穂地区の財産区は広大な山林を所有し、これの貸付による収入など高額な予算となっています。
丹波地区	56	上豊田住民センター	土木建築課	丹波パーキングの事業費は15億円と聞くが、造成面積はいくらで、どんな施設で、集客見込数はどれくらいなのか。	造成面積は4ヘクタール以内で、拠点施設を併設する予定です。	今年度策定する基本計画で、導入機能、集客見込数を検証しています。飲食施設、特産品販売施設、加工施設、情報発信施設、交流広場などを計画しており、年間利用者は約55万人を想定しております。
丹波地区	57	上豊田住民センター	水道課	創味食品工業㈱で利用される水量はどれくらいの量か。	1日3千トンの要望があります。	当日回答のとおり
丹波地区	58	上豊田住民センター	産業振興課	創味食品工業㈱の新規雇用について、町への要請等はあったのか。	正社員はできれば地元雇用と考えておられるようです。8月上旬に完工式のように、私には案内が届いています。	新規雇用については、ハローワークに登録するなどして募集されました。町への要請等はありませんでした。
丹波地区	59	上豊田住民センター	企画政策課	「仕事とお金」の3ページに、一般会計の状況が一般家庭として例えてあるが、例えがおかしいのではないか。	他の集落でも指摘を受けました。今後、納税者目線での資料を考えたいと思います。	来年度資料を作成する際は、分かりやすい表現になるよう工夫したいと思います。
丹波地区	60	上豊田住民センター	保健福祉課	クローバーサービスが開催されている月2回の「お楽しみ会」でのカラオケ曲がいつも同じである。町からの補助で新しい曲が購入できないのか。	以前から要望を受けており、予算措置したがクローバーサービスさんは違う事業に補助金を充当されたようです。できれば本年度で対応したいと考えています。	事業所と協議中です。
丹波地区	61	上豊田住民センター	子育て支援課 教育委員会	待機児童等に対して、年配者も何か支援できるような機会はないか。(年配者の生きがいとなるように)	対象は待機児童ではないですが、ファミリー・サポート・センター事業(仕事とお金 6ページ)を本年度予定しています。ファミリー・サポートとは、支援できる家庭でお子さんを預かる制度です。午前7時から午後8時まで預かれます。	ファミリー・サポート・センター事業は、京丹波町社会福祉協議会への委託事業として実施しますので、詳細については町社会福祉協議会へお問い合わせください。
丹波地区	62	上豊田住民センター	企画政策課	上豊田保育所下のスクールバス停留所であるが、府道の車線上にバスが停車して非常に危険である。バスポケットが設置できないものか。	以前から要望があり認識していますが、そこしか場所がなく困難な状況です。	バスポケットを設けることは、大変難しいと考えます。しかし、安全な乗降ができるよう、教育委員会や地元とも蜜に協議をしていきます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	63	上豊田住民センター	教育委員会	上豊田グラウンドの使用者がグラウンドの中まで車で乗り入れたり、硬式野球で使用しているが、近くには保育所などもあり、危険であると思うがどうか。	硬式野球では使用できないよう、申請が出た時にお断わりをしています。	上豊田グラウンドでは硬式野球の利用はできないよう、内規で定め、利用者に指導・徹底しています。
丹波地区	64	上豊田住民センター	教育委員会	丹波地域(町内)には文化施設が少ないのではないのか。	文化ホール等は必要であります、少し先になると思います。(別事業の予算が先行している。)	当日回答のとおり
丹波地区	65	上豊田住民センター	総務課	高原小学校跡の活用計画はあるのか。また、今後どうなるのか。	活用方法もいろいろあると思います。なんとか有効に活用したいとの思いがありますが、時間がかかると思います。	当日回答のとおり
丹波地区	66	上豊田住民センター	総務課	ダンマークは解体する必要があると思う。何か再利用できないものか。	鉄スクラップが高価であった時期なら、解体費用くらいは賄えたかもしれない。基本的には撤去すべき施設と考えています。	当日回答のとおり
丹波地区	67	上豊田住民センター	産業振興課	有害鳥獣で困っている。区(集落)で捕獲はできないものか。	難しい問題で、許可されないと。まず個体数を減らす事が重要であると思っています。	町の有害鳥獣捕獲員として許可証を発行した者でなければ有害鳥獣捕獲はできません。ただし、区の要望を受けて町が捕獲オリを購入し、区へ貸与して有害鳥獣捕獲員がわなをかけて捕獲している区はあるので、参考にさせていただきたい。
丹波地区	68	清涼館	水道課	上水道料金の徴収率について、未収入がどのくらいあるのか。	上水道に関して、7千万円の収入未済額がある。議員さんからもたびたび指摘があり回収に向けて努力をしている。今年度は、税務課に専門の職員を1名配属し、上下水道の未収金の回収に努めている。	当日回答のとおり
丹波地区	69	清涼館	土木建築課	町道下山日吉線の工事が発注準備中ということなのだが、具体的にいつ頃に発注し、いつ頃工事が終わるのか。	7月末に入札を行い、8月中旬以降に工事に着手したい。今しばらくお待ちいただきたい。	本年度は、交差点の前後133.0mを施工中です。工期は、平成24年1月31日の予定です。来年度も引続き27号バイパス交差点よりグリーンハイツ側の工事を予定しています。
丹波地区	70	清涼館	土木建築課	畑川ダムと高速道路のパーキングエリアのことについて、もう少し具体的に教えてほしい。	畑川ダムの周辺整備とパーキングエリアの隣接した地域振興拠点整備というのは、これからなので、今はこれ以上具体的には答えられない。	畑川ダム周辺整備については、地元対策協と町で連絡会を作っておりその中で、基本計画を検討中であります。丹波PAについては、策定委員会とワーキング会議の2本立てで連携しながら基本計画を策定しました。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	71	清涼館	水道課	上水道料金について、具体的な集金方法、どうしても集金ができない場合の措置、強制的な拘束ができるのか、電力については、滞納すると、即、電気が切られるが、上水道は具体的にどういう対応をされるのか。	未納者には、催告書を随時送っている。また、各家庭を訪問をしている。条例上は給水停止ができるとなっているので、そのような措置をとっていかねばならないと考えている。但し、ライフラインなので、完全に止めてしまうことに多少戸惑いがあるが、給水停止を見据えて厳しい態度で臨んでいきたい。	当日回答のとおり
丹波地区	72	清涼館	総務課	畑川ダムの見学会で府職員に聞いたところ、想定外の大地震が起きてダムが決壊したら、下山小学校までは行かないが、グラウンドは危ないということであった。そのグラウンドが黒瀬の避難所になっているらしい。常に小学生が使っているが、もしも、決壊するようなことがあったら、避難方法について(府職員は)分からないという返答であった。町として、そのようなことは把握されているのか。	まだ、避難対策はできていないが、今聞かせてもらったようなことは、完璧を期したい。	当日回答のとおり
丹波地区	73	清涼館	教育委員会	共稼ぎの家庭が増えている中、学童保育の利用状況と今実施されている場所がもう少し分散化できないのかを聞きたい。	1年生から6年生を対象に行っている。1組(旧須知小)が29名・2組(山開セ)46名・3組(和知小)21名、出入りはあるが、5月1日現在では、合計96名である。瑞穂地域は新小学校から近い結果となった、丹波地域はバスを使って移動している、和知地域は同じ学校に隣接しているということから、今のところは、今の状況で運営していきたい。	瑞穂地区は、学童保育の増加に伴う保育ルームの確保のため、旧桧山保育所を改修し10月より移転いたしました。
丹波地区	74	清涼館	土木建築課	町道(認定)については、いろいろな条件を言われてきた。800軒の家がないとできないとか、7センチの厚みのアスファルトが必要であるとか、ダイテツの土地が担保に入っていたので、その担保が抜けたら町道にしようというような、これまでにいろいろな経緯があった。その後担保が抜けたので、町に要望書を提出した。その返答は、どこか1箇所をしようということであったので、1案・2案として出したが、結局どこもできなかった。他の区も要望を出されたが、他の区はすべて要望が叶ったということを聞いている。道路の痛みも激しいので、是非お願いしたい。	担当者の報告では(事務が)遅れていると聞いているが、町道認定してほしいという要望に応えられるよう優先的に作業にとりかかりたい。他の区では認められたという事実はありません。	寄附をしようとする道路敷地の分筆登記を完了し、所有権移転登記ができる状態にあることを条件として町道認定をおこないたいと考えます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	75	清涼館	企画政策課	町営バスについては、毎年住民の声を聞き改善していただいているが、合併前に福祉対策だと思うがフリーパスのような施策がどこかの町にあったと思う。財政は逼迫していると思うが、高齢者の福祉という観点で100円、200円で乗車できるというようなことも、今後の課題にしていきたい。	そこまで考えていなかったが、今後、調査研究してみたいという思いである。	今後、町営バス運行のあり方を検討する中で保健福祉課等関係機関と協議をしていきたい。
丹波地区	76	清涼館	教育委員会	グリーンハイツでは、福寿会が子どもの見守り隊をしている。6、7年前の池田小学校事件を受けて、防犯ブザーを各小学校で持たせた。今、近隣や京丹波町でも声かけ事象が起こっている時代である。防犯ブザーを持っている状況と新たに持たせるのか、各小学校や各小学校PTAに対応を任すのか伺いたい。	子どもたちの安全安心については、重要なことと認識している。登下校では、地域の見守り隊、PTAの方、自治会の役員さんなどいろいろな方に協力いただき感謝している。防犯ブザーについては、全員に持たせている状況ではない。何人もっているか、いないかという把握はしていない。熊の出現には、熊よけの鈴を持たせ、全員が持っている。防犯ブザーについては、実態を調べて保護者や学校から意見を聞き検討したい。	実態を調査いたしましたところ、防犯ブザーにつきましては、PTAのご支援をいただく中で町内小学校全児童が携帯しております。(入学時に配布。)
丹波地区	77	清涼館	土木建築課	ハイツから27号線に抜ける道だが、サンダイコーの横の道から新田に通じるところに横断歩道がない。そこを足の不自由な若者が毎朝8時頃に通る。どうしても渡るのに時間がかかっているので、横断歩道があれば車にも注意してもらえるのではないかなと思う。	一度調べて、横断歩道がつくように頑張りたい。	公安委員会へ今後も要望を行ないます。
丹波地区	78	清涼館	土木建築課	町づくりについて、畑川ダムに温泉を掘削したのだが、その後どうなっているのか。	何もしていない。やらない方がいいと考えている。	当日回答のとおり
丹波地区	79	清涼館	土木建築課	そこ(温泉予定地)に、老人福祉センターができるということも聞くがどうなのか。	行政が直接そのようなことをするということは100%ない。	当日回答のとおり
丹波地区	80	清涼館	教育委員会	下山小学校の体育館の雨漏りがひどく、ブルーシートで対応されている。しっかりとした対策を講じてほしい。ライトも3分の1が消え、入口の照明も真っ暗の状態である。将来、旧丹波町も1校にする予定があつてのことなのか。	体育館の雨漏りについては、今調査中である。できるだけ早く修理をしていきたい。滑ると危険なので、先生たちにも指導の徹底をしていきたい。旧丹波町の3校が1校になるということは、今のところ全くない。	雨漏りの修繕、対応済みです。電球についても、一部を残して対応済みです。(1球のみ足場を組む必要があることから後日対応)入口照明については、タイマー対応となっていますが、機器点検を行ってまいります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	81	富田公民館	土木建築課	昨年、5月に上豊田で「長野から白土の間に防犯燈が一つもないのでつけてほしい」と要望した。土木建築課から、「国へ要望する」とのことだったが、現在の状況を聞いたところ確認中との返答だった。その後どうなっているのか？ 要望した後の結果についても、資料に記載してほしい。	要望は聞いています。国土交通省には、「道路照明」として要望しましたが、設置するという返事はありません。 要望はしていますが、答えはもらえていません。10年、20年、30年と何度も引き続き要望していきます。	当日回答のとおり
丹波地区	82	富田公民館	土木建築課	明治国際医療大学病院へ通院しており、町道富田高屋川線を利用するが、国道27号への進入時に富田バス停の辺りは、下山方面は見えるが京都方面が見えにくい。カーブミラー設置の要望について、京都府にも話をし南丹広域振興局からも1ヶ月以内に設置するとの回答だったが、京丹波町が断ったと聞いているがでどうであったか？	基本的に国道にカーブミラーは設置できません。国道27号線の富田バス停進入の件、要望書は受け付けております。他にも2ヶ所要望があるのですが、協議書は受け付けてもらえません。カーブミラーは補助的なもので、目視で確認し進入するのが原則です。他にどのような方法があるのか検討します。	町道敷に設置を検討いたします。
丹波地区	83	富田公民館	土木建築課	(上記の件)南丹広域振興局はできるといっている。弱者の立場になって考えてほしい。	南丹土木とも確認し、引き続き要望していきます。	町道敷に設置を検討いたします。
丹波地区	84	富田公民館	医療政策課	病院について、京丹波町から町民の何%が、また、町外から何%が利用されているのか？	町民の80%以上が利用されています。町外の利用者は三和町の方が多いです。 病院の収支は改善の方向です。安心という意味で、コンビニ的な病院として笠並病院、京丹波町病院、和知診療所があります。効率、採算はどうかと言われると難しいですが、絶対必要なものとして、医療、応対などのサービスを赤字覚悟で充実していきます。	当日回答のとおり
丹波地区	85	富田公民館	土木建築課	宇津木寺の役をしているが、寺が古く区民の会費から苦しい会計をやりくりして改修してきた。ゲリラ豪雨で昨年寺の裏山が崩れた。役場の担当者に相談したが、5件以上の被害があれば対応できるとの返答だった。80%が檀家で、110件あるので該当しないのだろうか？多額の会費を頂いて護持をしているが、災害対策をお願いしたい。	お金の問題ではありません。檀家110件あっても、税金を使うとなると難しいです。 急傾斜地崩壊対策事業で取り組むしかありませんが、公共の所ではない所を守るには5件以上ないと該当せず取り組むことができません。 現地を見に行きます。	現地を確認しましたが、当日の回答の通りと考えます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	86	富田公民館	医療政策課	医療確保奨学金事業はよいことだと思うが、予算の180万円は何人を想定しているのか？現在の応募者の有無は？何人を対象とされているのか？	京丹波町では1人としています。 この制度は昨年度制定しました。医師志望者1名を高校まわりをして募集しましたが、現在のところ応募がありません。京都府からも15万円、京丹波町からも15万円、月30万円の奨学金が支給されます。お知り合いがあれば、お声掛けをお願いいたします。	当日回答のとおり
丹波地区	87	富田公民館	土木建築課	須知高校への送迎は自家用車が多いが、富田の交差点から9号線に出るのに「三福」の前の歩道を通る車が多くなる。送迎している保護者が違反している姿が見られる。 丹波瑞穂線という良い道路ができたのに、行き交う車がない。利用するよう考えてほしい。	送迎時のことについては、反面教師としていただきたいと思います。 広域農道として立派な道路ですが、町道小野線を拡幅整備する計画であり、完成後は、東叉から農産物の流通が可能となるため安井、鎌倉、東叉、小野の地域で、よい農産物を売ってほしいと願っています。	個人の交通マナーの問題と考えます。 当日の回答の通りと考えます。
丹波地区	88	富田公民館	総務課	事務組合の報酬が多いのではないか？仕事があればだが、仕事量を教えてほしい。	報酬については、たくさんいただき申し訳ありません。事務組合の栗山亀岡市長、佐々木南丹市長と協議し、審議会ができたらいかがかが適切なのか審議していただきたいと思います。事務組合の仕事については、それなりの責任があります。管理者であるので重い仕事です。全部の書類が回り決裁を行なっていますが、納税者である町民の思いも理解しています。	当日回答のとおり
丹波地区	89	富田公民館	土木建築課	道路ができてから狭いところがあるのは、未計画でおかしい。	申し訳ありません。	当日の回答の通り
丹波地区	90	富田公民館	総務課	検討課題にしてほしいのだが、ふるさと納税制度は積極的に利用されているのか？	ふるさと納税については実施しており、検討しております。	ふるさと納税制度は平成20年度から実施しており、平成20年度は、5件17万円、平成21年度は、4件13万5千円、平成22年度は、20件168万6千円の寄附がございました。
丹波地区	91	富田公民館	総務課	丹波自然運動公園前のビジョンダンマークについて、昨年壊すと聞いたがいつごろどうされるのか？グランドゴルフをするのに狭い。 建っているだけで利用もないが、維持費に税金が使われている。	あると危ないのでなくしたいと思っていますが、撤去するのに京都府の交付金助成制度がありません。順番に対応していきますので、ご了承ください。 トイレは活用してもらっていますが、今度はいいものがつきます。	当日回答のとおり トイレにつきましては、ビジョンダンマーク内のトイレを利用できるよう、現在故障している浄化槽設備の更新を行う予定です。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	92	山村開発センター みずほ	総務課	公債費が多額であることに驚いた。残高は、いくらあり、何年ぐらいで返済できるのか。	22年度末で、約151億6千2百万円です(旧町時代からのものを含む)。出来るだけ繰上償還をしていきたい。公債費比率も府下でも悪い数字である。22年度決算では、好転してくるのではないかと考えている。1回借金すると返済は20～30年かかる。	平成22年度末残高 一般会計→当日回答のとおり。 全会計→ 343億1千5百万円です。 償還期限については、起債メニューにより異なりますが、最長のものでは公営企業関係で30年となります。
瑞穂地区	93	山村開発センター みずほ	総務課	30年間も返済が続くということだが、町民が負担していかねばならないので、ぜひ、借金を早く返済していただきたい。	新しい事業を実施するのにまた借りる。借りたほうが有利な事業もある。何も事業をしないというわけにはいかないで、ご理解いただきたい。今のペースなら10年から15年で繰上償還して返せるので、それほど心配していただかなくても良い。	一般会計では、平成18年度から平成21年度で9億7千万円の繰上償還を実施しました。今後も交付税算入の高いメニューを中心に計画的な対応を行うこととします。
瑞穂地区	94	山村開発センター みずほ	教育委員会	小学校統合について、和知は早かったが、この地域はなかなか統合されなかった。統合して、まだ数ヶ月であるが、子どもたちの環境も変わったわけであり、状況としてはどのような感じなのか。統合して、何か問題が見えてきているのか伺いたい。	136年或いは137年続いたそれぞれの4小学校がひとつになり、児童数は、約190名になった。5年生だけが2クラスである。バス通学を心配していたが、シルバーさん等の協力によりスムーズにいつている。1年生は35人と多いので、2人の先生が入っている。すぐには、まとまりにくい、修学旅行、野外活動等の活動を通じながらうまくいきつつある。今後、運動会などの行事をする中で、学級担任の各先生のクラス経営の中で、確実に新しい校風づくりができてきているのではないと思う。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	95	山村開発センター みずほ	子育て支援課	人口を増やす方法を考えて欲しい。婚活支援事業の内容と、成果について教えて欲しい。	<p>予算は、調査に充てるもの。今は廃れてきたが、昔は仲人があったので、文化として復活させたい。税金を使って実施する以上は、文化として少々時間がかかるかもしれないが、後年に残っていくようなものを作りたい。みんなが理解してもらえるシステムを構築する必要がある。</p> <p>ファミリーサポートセンターにも力を入れている。私のいう文化、良い習慣を復活した。昔は地域全体で子どもを育ててきた。絆社会を復活できればと思っている。婚活も然りです。</p> <p>子育てについても、かなり充実していると自負している。すこやか子育て祝金(P6)事業もある。すこやか子育て医療助成ということで、3歳から中学校卒業まで1箇月200円を払ってもらえれば医療が受けられる。府下では恵まれた条件である。住民検診も負担なしである。元気な生活をするということが、町づくりの基本である。出産から成人病まで充実した制度の裏づけがあると思う。</p>	婚活支援事業については、今年度は独身男女に出会いの機会を提供することを目的とした「出会いサポート事業」として実施します。また、来年度以降については、婚活にご協力いただける人材のネットワークづくりについても検討を進めて参ります。
瑞穂地区	96	山村開発センター みずほ	産業振興課	安井の養鶏場跡地について、亀岡の大学、町長、地元の方3者で協議をされると新聞に掲載されていたが、跡地はどのようなになるのか。	<p>地元は、自然に戻してもらえれば良いと言われている。施設を撤去するだけなら事業費(財源)が出てこないで、地元をはじめ京都学園大学の方と知恵を絞っている。金がかからない程度で森林公園のようなものを整備してもらえれば、地元も草刈りをすると言ってもらっているので、そういう方向でまとまるのではないかなと思っている。そうすると、過疎債などを利用して撤去費が捻出されると考えている。</p>	当日回答のとおり
瑞穂地区	97	小野公民館	産業振興課	有害鳥獣の対策について、特別委員会等、検討する委員会があるのか。鹿、猪、ヌートリア、あらいぐまなど幾つもの有害鳥獣が入り、農作物がとれなくなったが、(個人的に電柵をしても)電柵に対する補助をしてもらえないか。個人な設置には、電柵対応にならない。個人的に設置する対策にも、何らかの補助がもらえないか検討してほしい。	<p>協議の場はある。振興局、猟友会の場にある。鹿、猪の個体数が多いので、減らさなくてはならないことで捕獲報償金を15千円から20千円にした。電柵に対して、個人に対する補助はないのは現状であり、検討させていただく。</p>	有害鳥獣対策について協議する町の組織として有害鳥獣対策協議会があります。有害鳥獣被害防止施設(電気柵、金網フェンス)設置にかかる町補助金については、個人も対象に加えました。ただし、補助率は30%以内で、上限単価等要件あります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	98	小野公民館	産業振興課	有害鳥獣の件で、電柵は猪対策のために行ったもので、鹿のことは考えていなかった。支柱が曲げられている。保護区の期間はどれくらいあるのか。辛抱するのにも困る。	保護禁猟区を受ける時、京都府と協議してきた。保護禁猟区をはずすのは難しい。何らかの手立てをしてもらうことが必要と思う。強力に要望したいが禁猟区をはずすのは難しい。	当区に隣接する鳥獣保護区特別保護地区は、存続期間の満了日が平成26年10月31日となっています。更新の方向なのか否かは不明であるが、その時点で関係者の意見を聞いて総合的に判断されることになると思われます。
瑞穂地区	99	小野公民館	産業振興課	<p>何とか(禁猟区)をはずすように運動してほしい。猟友会は鉄砲を撃っておられない。昔は、猟師が10人くらい近くにおられたが今はおられない。京都府がどう言っているのか知らないが、(禁猟区の)期間が終わればはずしてもらいたい。</p> <p>保護団体は、きれいごとを言っているが、実態を知らない。実態を知ってもらうためには(保護団体との)交流が必要である。本当に(作物を作る)意欲がなくなる。</p> <p>(保護区)の継続は、地元の区が了解しなければ継続できないはずである。一番困るのは農家である。町長さんだけでなく地元もがんばるので(保護区を)はずすようお願いしたい。</p> <p>(農作物を)楽しみに作っておられるのに、本当にその楽しみを失われる。都会では、1匹のサルが出ただけで大問題になるのに本当におかしい。</p>	知事との話では、有害鳥獣の話が6割くらいあります。いろんな意見がでますが、できていないのが現実であります。基本的には、有害鳥獣のことをよく知っている国会議員がいないことが問題です。被害を受けた人の心の問題を知らない人が多い。真剣に取り組んでいるのであるが非常に困ったことであります。	当日回答および前述のとおり
瑞穂地区	100	小野公民館	土木建築課	(町長と語るつどい)の資料P11の開発プロジェクト・丹波パーキングについて、丹波の農作物を考えておられると思うが、供給側(農家)の方にも後継者がいない。農作物を売る農家が少なく、供給側があるのか。出荷できる農作物はあるのか、どう考えておられるのか。	供給側の人にもかなり入ってもらいます。午前8時から午後5時まで、商品がなければ、競争に負けると思います。お金になることがわかれば、40代、50代の人(供給側に)入ってこれると思う。(パーキングエリアの周辺整備)造っておかなければ始まらないしだめであると思います。	当日回答のとおり
瑞穂地区	101	小野公民館	土木建築課	(町長と語るつどい)の資料P11の開発プロジェクト・丹波パーキングについて、地元の要望に応じてパーキングエリアを考えておられるのか。	生産者には、パーキングでお金を儲けてもらおうと思っている。生産者が儲かる施設にならなければいけない。地元の人にも利用してもらえ、生産者もそこで商売できる施設にしたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	102	小野公民館	企画政策課	昨年度の町政懇談会で、意見(要望)が出たもので取り上げてもらったものはあるのか。	(出た意見等は)100%記録して対応している。回答はしています。ほっとらかしにしていることはありません。	いただいた要望や提言は、分類・整理し、担当課の回答や対応状況を確認した上で、取りまとめ結果として作成し、今後の施策・事業に反映させています。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	103	小野公民館	土木建築課	京都縦貫道の通行量は有料に戻ってから少ない。利用者が、利用しやすい施設に。	心配していただいていることは、すべて懸案事項として考えていかなければならない。高槻、吹田方面から来られるようになるので、スマート・インターチェンジをつけて、丹波自然公園に誘導できるようにしたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	104	小野公民館	総務課	旧瑞穂病院の解体について、近隣の方から要望があったのか。跡地利用について教えほしい。	(跡地利用について)今のところ持ち合わせていない。	公共事業等に有効活用を図ります。
瑞穂地区	105	小野公民館	土木建築課	異常気象で除雪について、町の方では、積雪が10cm以上になれば、除雪するということであるが、(桧山の中心部で10cm位であっても)ここでは20cm位積雪がある。除雪に入って頂いても、お昼を過ぎてからである。通学の子もいるのでなんとしても除雪をお願いしたいのと、除雪にかかった分については町でみてほしい。	なかなか「はい」とは言えない。この場合は検討させてくださいとしかいえない。今日の話を聞いて(除雪の)順番を検討させていただく。 (通学路の除雪について)通学路について、地元にお世話になっています。できるだけ除雪をして、通学路の確保をお願いしたい。	町では積雪時に除雪が必要とされる路線を除雪対象区間と定め、例年の積雪量により一次除雪区間から三次除雪区間までを定め順次作業にあたっています。小野地区については一次除雪区間となっているため、他の路線よりも早期に除雪にかかるはずですが、昨年度の大雪のような場合は作業にあたる車も限られているため、時間がかかることもあるのでご了解いただきたい。通学路の除雪については、他の地域についても地元でしていただいているので、引き続きご協力をいただきたい。
瑞穂地区	106	小野公民館	土木建築課	桧山の中央で10cmでも、小野では20cmある。除雪の積雪はどこで計っているのか。桧山の中央で10cmなければ、(除雪に)入ってもらえない。雪の多いところで(積雪量を)計ってもらいたい。	積雪の測定箇所は1ヶ所だけではありません。除雪は生活路、通学路と行っています。町内業者は、4業者あります。除雪順番については検討したいと思います。	町内の観測箇所は6箇所あり、瑞穂管内は質志の観測装置により積雪量を観測し、委託している4業者が分担して瑞穂管内の除雪にあたっています。質志は積雪量が多い箇所なので、除雪開始の基準については適正であると考えます。
瑞穂地区	107	小野公民館	全課	役場からの郵便での通知書が1家族に2通来る。(夫婦2人世帯で、別々に2通来る。)費用的にもかかると思うので、日常の心構えとして守ってほしい。(世帯同封)	郵便物で職員の家族等について、職員に渡すようにしている。郵便物の配布について守るようにしたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	108	小野公民館	教育委員会	教育費について、6%は、京丹波町の教育費が他町に比べて少ないのでは。図書の数も少ないのではないかな。	京丹波町の(教育費)予算は南丹管内でみれば、学校にお金がないということはありません。他の市町村と比べて少ないということはありません。図書数も学校で増やしていただいている。さらに充実するようにしたい。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	109	梅田振興センター	土木建築課	通過の町とならないための丹波パーキングに15億円との報道があった。慎重に対応してほしい。	投資にかかわる話。賛成、反対はあるが、町の振興のための施設、ご理解いただきたい。子孫からなぜ作らなかったのかとも言われることもある。京丹波町民が納めていただいた税金を使わせていただくもので、間違いのない選択をしていきたい。	国土交通省との協議により、縦貫道そのものの工事費を含め、効率の良い手法としていきます。その中で町の費用も有利な補助金活用をするなど工夫していきます。
瑞穂地区	110	梅田振興センター	産業振興課	有害鳥獣対策について、狩猟許可書の期間を隙間なくしてほしい。	協議会が決めている。その中で、意見が反映できるよう努力する。	町有害鳥獣対策協議会で協議し、京都府の定めに基づき、できるだけ短い隙間で許可証を発行しています。
瑞穂地区	111	梅田振興センター	企画政策課	CATVのデジアナ変換で大阪テレビが映らないのはなぜか。	テレビ大阪は当初送信を打ち切るといわれていたが、何とかデジタル送信までこぎつけた。テレビ大阪のデジアナ変換の許可がおりなかったもの。	デジアナ変換は、平成27年3月末には終了となります。デジタルでの対応をお願いしたいと考えます。
瑞穂地区	112	梅田振興センター	総務課	大震災の原発事故を受けて、福井県の原発もある。できるかぎりなくしてほしい。人間が扱えないものである。	国もそういう方向に舵を切っている。私ももともと同じで考え方である。	当日回答のとおり
瑞穂地区	113	鎌谷奥公民館	総務課	合併した町にとってのメリット、デメリットについて、どのような見解をもっているか。水道料金も上がっているように思う。	合併後、即、効果はわからない。前町政の4年間は暗中模索の日々であったと思う。丹波PAに計画している地域振興拠点は、将来を見据えた積極的な投資である。安井の鳥インフルエンザ問題については、いろんな人にお話し、交付税の上乗せという成果を得た。今後、合併効果が上がってくるものと思う。医療問題については、和知診療所の医師問題もあり、必然的に効果を挙げるため、京丹波町病院となった。医師確保に積極的に取り組んでいる。水道料金の値上げについては、合併したからではなく、統合水道事業をその当時、平成13年から平成24年を完成として45億円の計画で進め、必然的に料金値上げとなったもの。1万6千人の町となり、京都府や国に対し、陳情・要望活動がしやすくなり、これから効果が上がってくると考えている、由良川水源を生かした町づくりを行なっていく。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	114	鎌谷奥公民館	産業振興課	有害対策の効果が上がっていない、アライグマが多い。予算がないので、捕獲数を制限された、今年は、大丈夫か。ドロップネットについて、詳しく聞きたい。	イノシシ・シカについて、予算・捕獲頭数とも余裕がある。ドロップネットについては、餌付けをし、たくさん集めてネットを落とす方法であるが、兵庫県に視察にいつて、安井区とともに研究している段階である。	当日回答のとおり
瑞穂地区	115	鎌谷奥公民館	子育て支援課	寺尾町政になって住民の声をよく聞いてもらっている。みずほ保育所を見学したが、非常勤職員が多い、できれば正規の職員を1～2名増やして職員の負担の軽減する考えは、ないか。	昨年度退職者があつたので、平成24年度に2名を募集採用するよう検討している。	正規職員を増員し、安心安全な保育所運営を進めて参りたいと考えています。
瑞穂地区	116	鎌谷奥公民館	総務課	合併効果について	京丹波町として、京都府とも良好な状態にあり、全体的には上向きなまちづくりができていると自負している。合併特例債については、消防関係の装備充実に重点配分している。住民の皆様をお願いするのは、まちとして一体感を持たせることが重要と考えている。気やすいまちづくりを進めていかなければならないと考えている。	財政的には、交付税算定の特例期間(H27まで)、合併補助金の活用、合併特例事業債の発行許可などの特例効果があります。
瑞穂地区	117	鎌谷奥公民館	総務課	歳入予算について、町債9億7千万円とあるが、大丈夫か。	借りるより、返す金額の方が多いので心配はしなくてもよいと思う。	公債費負担適正化計画に基づいた計画的な発行を行っています。
瑞穂地区	118	鎌谷奥公民館	産業振興課	有害により農業に意欲がなくなっている、サルの捕獲方法はないのか。	有害については、個体数を減らすしか方法がないので、関係機関への相談や予算増も行なっている。	町捕獲隊の銃器によるもの以外に本年度、サル用小型捕獲オリを2基購入します。効果が出れば、わなによる捕獲も実施していきたい。
瑞穂地区	119	鎌谷奥公民館	産業振興課	随分以前にサルを餌付けしたみたいにシカもできないか。	シカについては、有効手段がなかなか見出せないのが現状であるが、予算を確保しているので積極的に対策に取り組む。	シカの新型捕獲装置「ドロップネット」を実験的に導入します。その成果を見て対策を立てていきたい。
瑞穂地区	120	鎌谷奥公民館	教育委員会	鎌中の祭りに使う「曳山」あるが、老朽化している。文化財保護の補助金をお願いできないか。	すべてにお答えできないかもしれないが、一度要望してもらったら、一緒に考えたいと思う。京丹波町では、文化財指定として、国7、府25、町指定が47と合計で79の文化財指定がある。	本件については、11月初旬に京都府から社寺等文化資料保全補助事業の追加申請依頼があり、要望のありました他1件とともに申請を予定しています。(集落には連絡済)
瑞穂地区	121	鎌谷奥公民館	総務課	村が暗いので、平成21年度から道路の法を刈って外灯を設置し、防犯対策にも取り組んでいるが、補助金はないか。	防犯灯の設置については、総務課にご相談下さい。道路の草刈については、区のほうでお世話になり、少ないですけど謝礼をお支払いしています。今後ともご協力をお願いします。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	122	鎌谷奥公民館	産業振興課	有害対策として電気柵を設置した補助金の支払いが、12月以降になると聞いているが、早くならないか。	実績報告等の書類を提出していただき、確定したところから交付できるよう担当課に指示する。	当日回答のとおり
瑞穂地区	123	妙楽寺公民館	産業振興課	妙楽寺ではフェンスを張り巡らしているが、道路からシカ・イノシシが入ってくる。夜間に区の境付近の町道をフェンスで封鎖させてほしい。稲穂が実りだすとイノシシが出てきて田に入る。何か対策を考えてほしい。	町道にフェンスを設置することは非常に難しい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	124	妙楽寺公民館	産業振興課	妙楽寺の人に迷惑をかけており申し訳ない。栗野区としては区内全域に金網フェンスを張り巡らす計画をしている。町補助金をいただけるのであれば来年度に実施したい。	栗野区長さんから相談を受けている。実施する方向でまとまったら来年度施工に向けて対応をさせていただくと返答している。保井谷区は本年度において金網フェンスを広範囲に設置される。隣接する集落が連携して計画的に設置されと効果が出ると思う。一つ一つの集落で考えるのではなく三ノ宮地域全体のこととして協力して取り組んでいこうということになればできる限り対応したい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	125	妙楽寺公民館	産業振興課	京都府が米の放射線量検査を行うことが決まったのか。原子力発電所から放射性物質が飛んできているとなれば困る。	まだ聞いていないが、食の安心の観点から風評被害を出す前に検査するのは反対しない。本町も地域防災計画原子力編をまとめ、9月中に皆さんに説明する。関西電力に対してもしっかり言っていかなければならないと思っている。	京都府が振興局単位で農作物等の検査を定期的を実施し安全性を確認しています。検査対象は、主食用米をはじめ小豆、黒大豆、みず菜、ほうれん草、飼料用米、稲わらなど。現在まで放射線物質は、すべて不検出という結果であります。
瑞穂地区	126	妙楽寺公民館	住民課 瑞穂支所	猪鼻の環境保全センターは、埋立計画は終わっているのではないか。	積み増しの要望に地元が同意した。監視委員会を3か月ごとに開催し現状確認している。環境保全公社は、約束どおり優秀に目的を達成してくれていると評価している。 現計画は平成28年までとなっている。リサイクルや再利用が進んだため、現時点で計画よりも実量が少ない状況であり、施設を有効利用するために8年延長して平成36年までとすることに地元も同意したという状況である。	当日回答のとおり
瑞穂地区	127	妙楽寺公民館	総務課	多くの新規事業の取組みに感謝している。放射線量のモニタリングポストの設置が早くできればうれしい。	モニタリングポストの設置は、できるだけ早くしたい。	京都府により町内(和知地区)に設置される予定です。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	128	妙楽寺公民館	子育て支援課	婚活支援事業について、結婚祝い金制度がよいと思っている。内容を教えてほしい。	婚活支援事業は、祝い金までは考えていないが、仲人を復活させたり、出会いの場をつくったりするなど婚活支援に真剣に取り組んでいきたい。	婚活支援事業については、今年度は独身男女に出会いの機会を提供することを目的とした「出会いサポート事業」として実施します。また、来年度以降については、婚活にご協力いただける人材のネットワークづくりについても検討を進めて参ります。
瑞穂地区	129	三ノ宮基幹集落センター	総務課	旧瑞穂病院解体後の跡地利用は。	いつでも利用できる状態に先ずしたい。跡地利用方針が決まったら議会や住民の方に報告する。今しばらくお待ちいただきたい。	公共事業等に有効活用を図っていきます。
瑞穂地区	130	三ノ宮基幹集落センター	子育て支援課	婚活支援事業は、若い人だけが対象か。	40～50代の方のことを言っておられると思う。年齢は問いません。	婚活支援事業については、今年度は独身男女に出会いの機会を提供することを目的とした「出会いサポート事業」として実施します。年齢は、20歳以上でおおむね45歳以下の方を対象としております。また、来年度以降については、婚活にご協力いただける人材のネットワークづくりについても検討を進めて参ります。
瑞穂地区	131	三ノ宮基幹集落センター	土木建築課	国道173号のみずほトンネルで事故や災害が起こった場合、町道を迂回路として使用するときがある。質志戸津川線を使われると思うが、整備に対しての見解は。	国、府道については、それぞれの道路管理者が対応する。災害時にどんどん町道を通られるのも困るが、防災面を考慮して町道整備していきたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	132	三ノ宮基幹集落センター	産業振興課	昨年度に有害鳥獣防止柵の要望書として、3kmで400万円程の見積書を出した。今年度になり採択されたが、国庫補助対象として照会を受け、工事費まで含んだ内容として1,000万円となった。負担金としてのお金の払い方となって金額が上がり、断念した。町の事情もあるだろう(国庫補助事業を入れること等)が、もう少し早い段階で相談して欲しかった。補助率などは申請段階で明確にしてもらわないと地元でまとめられない。	仕事の仕方についてである。(予算の裏づけの話があるが)採択は大体される。もっと役場に甘えてもらったらよい。 仕事のやり方として判断する時間が短かった。急に補助がついたという状況だったと思うが、言われた場合も困惑されるのも理解できる。府も積極的に対応してくれるようになった。但し6割補助。地元も十分な判断ができるだけの時間を考慮するようにしていきたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	133	三ノ宮基幹集落センター	産業振興課	有害鳥獣防止柵の件。京都新聞で府予算が倍額になったと聞いた。今日説明の事業費は、(その内容が反映されていないということと思うので)上乘せはあるか。 又、補助対象は個人というのは無理なのか。	補正予算も考える必要がある。単価1,600円／mが上限。これの6割補助である。補助対象は基本的に農家組合等の団体である。	本年度から国庫補助事業を活用して有害鳥獣被害防止施設の設置に取り組んでいます。新聞記事は、このことを載せています。国庫補助事業は、地元分担金をいただいて町が施工することになります。有害鳥獣被害防止施設(電気柵、金網フェンス)設置にかかる町補助金については、個人も対象に加えました。ただし、補助率は30%以内で、上限単価等要件あります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	134	三ノ宮基幹集落センター	総務課	双葉町への支援について、これから先はどうお考えか。 高浜原発にも近い。原発対策はどう考えておられるか。	双葉町への支援が広がりがうれしい状況である。役場としてこれまでの取り組みを取りまとめて報告もして、これからの方向性を示したい。 原発に関しては防災計画の中で作成する。10月には説明会は実施したい。もし、避難が必要ならばどうするか、具体案を考えるのは私の使命と考えている。	当日回答のとおり
瑞穂地区	135	三ノ宮基幹集落センター	瑞穂支所	三ノ宮小の跡地利用について、町は考えていてくれるか。	基本的には地元でお使いいただく。 地元からの提案を聞かせていただき、一緒に考えたい。	旧三ノ宮小学校跡地利用については、活用方法や支援について、地元関係者と協議中であります。
瑞穂地区	136	三ノ宮基幹集落センター	水道課	水道が断水した場合は、水洗トイレなどが使えないどのような対処をしてくれるのか。	断水等が発生しないようにがんばっています。しかし100%とは言えない。断水したときには、トイレや風呂の水までは難しいが、ポリタンクにて飲料水の確保は必ずしていきたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	137	三ノ宮基幹集落センター	教育委員会	総合型スポーツクラブもそうであったが、立ち上げ時には町も力を入れてくれるが、後は経費も無く運営が苦しい状態となっている。	確かに行政は立ち上げ時には何かと力を注ぐが、その後は私も挨拶には行かせてもらうが、なかなか支援できていない。それぞれの人に助けてもらって運営していただくことが、私の気持ちである。支所等に相談もしていってください。	当日回答のとおり
瑞穂地区	138	三ノ宮基幹集落センター	産業振興課	合併前の町は、企業誘致等にながらわれておられた。京丹波町での企業誘致に対する考え方は。	デフレで企業も投資できない社会である。本日、創味食品第3工場が完成し、新規の社員やパートの募集があった。畑川ダムが完成すれば、企業誘致できる条件が整ってくる。特に食品工場が望ましい。京都縦貫により市内からの所要時間が短縮となる。水道料金は下げるのは難しいかもしれないが、長く維持できるだろう。	当日回答のとおり
瑞穂地区	139	三ノ宮基幹集落センター	医療政策課	京丹波町病院で薬の間違いがある。知り合いの何人かがそうであった。あつてはならないことである。	まことに申し訳ない。事実確認をして対処したい。	町長と語る集い(三の宮)の翌日に事実確認を行い、病院として対応済みです。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	140	質美振興センター	産業振興課	丹波地域はシカが減ったという話は本当か？ 猟友会のエリアが異なるので、瑞穂地域には入れないという話も聞く。そうであれば、猟友会の統合や駆除の乗り入れ調整など行政の指導力を発揮されたい。	丹波地域でシカが減った状況ではない。猟友会は、すでに統合し、支部を中心とした活動となっている。	町は町猟友会に有害鳥獣捕獲を委託しているので、運用面については支部間の連携・協力により捕獲を実施していただきたい。
瑞穂地区	141	質美振興センター	医療政策課	質美診療所の診察日が昨年から週3日が2日となったのは、採算の問題か？ しかし、質美診療所の収支の分かる会計がないのは何故か？	京丹波町病院事業に含まれている。	当日回答のとおり
瑞穂地区	142	質美振興センター	産業振興課	林業大学校誘致の話があった。町内には、手入れの出来ていない山林等がある。林業大学校は、町内の森林関係の施策に対応できるのか？	耕作放棄地に木を植えても、維持管理が出来ないところが日本中にある。私は、長い目で見れば、食糧危機により田に戻す時代が来ると思っている。無理して、耕作放棄地を守りしなくても、都会から食糧生産を求めて人がやってくる時代が来る。林業大学校については、そのような現状とは直接的には関係はない。2つの課程があるが、町内生産森林組合の山を演習林として使うことはあるが、直接、山の木を整備するものではない。例えば、他にない大学校で、全国から若い人たちがやってくることによって、地域の起爆剤になることを期待している。	当日回答のとおり
瑞穂地区	143	質美振興センター	産業振興課	京都府事業で、「里力再生アクション」の取り組みにおいて、バイオマスや小水力発電などの普及が上っていたが、木材の加工利用に力を入れてほしい。きのこセンターをバイオ燃料を作るのに活用してはどうか？	間伐材は、昔は、伐っただけでよかったが、今は搬出し、使わなければならない。今年度は、補助金を活用して、薪ストーブを設置する。間伐材活用の啓蒙である。間伐材をチップやペレットに加工して燃料にする技術については、大阪に工場があるが、関西電力はカナダから輸入し火力発電に利用しているのが現実であり、町で木質ペレット工場を作っても太刀打ちできない。今は、補助金を使って、ストーブを設置し、その効果等を実験する段階である。	本年度は、木のぬくもり活用推進事業の木質資源循環型利用として、ウッドボイラーをグリーンランドみずほの宿泊施設に設置して間伐材の活用策を見出すこととしています。また、併せて薪ストーブ設置も実験的に取り組んでいます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	144	質美振興センター	瑞穂支所	また、モノ(施設)がなくなるとやる気がなくなる。何かを残して、活用してほしい。	施設等については、あるから、何とかして使わなければならない・・・とは考えていない。行政は、地域住民の想い、願い、祈りからモノを作るものだと思っている。それが公共施設に求められている。地域に必要なものまで、維持管理だけをするのはナンセンスである。そういうことに、税金を使うべきではないと考える。北海道夕張市はそのことにより失敗している。しかし、地域の願いになったものは、何があっても作らなければならない。統合後の小学校施設については、白紙で協議させていただいているところである。	各旧小学校跡地活用については、活用方法や支援について、地元関係者と協議中であります。
瑞穂地区	145	質美振興センター	瑞穂支所	残った建物等については、住民の意向に沿ったかたちで、必要だから使いたいと考えている。お金や人が合わなければ使おう、使うために使うだけでは破綻するので考えていただきたい。壊したらよいという意見もある。負の遺産は残すなどの声もある。施設等は人が使うのであって、人がいなければできないことであり、基本的にそう思っている。	また、見据えていきたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	146	質美振興センター	医療政策課 総務課	税や国保で、年々未収が多く、回収が出来ていないのでは？月末の夜間窓口の効果は？ 瑞穂病院は、合併前に、瑞穂町は借金が少ないから、建てておいたらどうかとの声が出て建設したが、今は、病院経営で苦しんでおられるのではないかと 赤字であっても、町民の健康を守る施設であれば一定の赤字もやむなしであろうが、採算はどうか？収支改善のために、何か努力していることは？地方交付税が多いが、東日本大震災の影響が出て厳しくなるのでは？	税等の徴収については、専門員による相談や夜間徴収を行っているが、徴収率はなかなか上らない。専門的に集金を行う職員を配置し、積極的に集金にあたっている。地方交付税は震災の影響で減るかもしれないが、病院は、当面、現体制でやりたいと考えている。ルールに基づく、繰出しで、何とかやれる。交付税が減ったときには、何を省くか、住民の皆さんと相談したい。	病院の収支改善は着実に進んでおります。合併後からも数々の改善が進められ、看護配置基準の改善、入院病棟の一般病床変更、土曜診療の開始、未納者の回収、窓口事務等の委託等々。交付税が削減されたときに慌てないようにするためにも、病院として今後も改善を進めてまいります。 地方交付税について、国の財政対策は、今後復興対策にシフトしていくことが予測され、地方財政計画にも少なからず影響が生じてくるものと想定しています。
瑞穂地区	147	質美振興センター	企画政策課	地域活性化への支援については、地域の熱意が大切であるが、地域だけでは、堂々巡りにになってしまう。町からの提案もお願いしたい。地域支援担当と一緒に盛上げてほしい。	地域支援担当は、一緒になって考え、相談にのったり必要なアドバイス等をやっていく。担当職員を積極的に活用してください。	当日回答のとおり
瑞穂地区	148	質美振興センター	産業振興課	有害獣対策は、いちごっこで、どこかを囲えば、どこかに入る。全町レベルで考えてほしい。有害駆除員を増やすために、狩猟免許取得の補助金を出してもらっているが、害獣駆除するのに、猟友会に加入しなければならないというのはいかがなものか？会費を払っての活動を望んでいない。猟期以外は、会員でなくても、駆除員としての活動を認めてほしい。	-	有害鳥獣捕獲員は、狩猟免許を取得・登録し、さらに、鳥獣の習性や本能を則した捕獲の知識・経験を必要とし、また、捕獲は、安全性の面も含め町全域を対象とした組織的な捕獲活動とすることが望ましいため、町猟友会に委託しています。このようなことから町猟友会に委託して実施しているので、ご理解いただきたい。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
和知地区	149	市場ふれあい プラザ	総務課	冊子の11ページにあるように、道路改良の測量(町道市場上ノ山線)に取り組んでいただき嬉しく思っている。商工業について、旧高原小学校の跡地について何か利用予定はあるのか。	具体的な話は全くありません。国道27号線との段差があり、国道の高さにした方が良いと思いますが、隣接地の方々の同意取得が困難でありました。思いは持っていますが、良い場所なので京丹波町発展のためできるだけ早く活用していきたいと思っています。	当日回答のとおり
和知地区	150	市場ふれあい プラザ	産業振興課	中山間地域直接支払制度について、350万円の交付を頂いているが、高齢化も進み役員の負担も大きく土地を守ることができない。協定地から外すことはできないのか。	5年の協定期間中は協定地から外すことはできない。地域の皆様に守っていただきたいと思っている。	当日回答のとおり
和知地区	151	市場ふれあい プラザ	産業振興課	(上記について)5年間、役員が責任を持てということか。身寄りが無く、家や田も守れない状況であり、役場から所有者に指導してもらえないか。	2期目から3期目の段階で、協定地から外すこともできたが、継続されたので地域で責任を持って守っていただきたいと思う。中山間地域から外すことは可能であるが、現在、3期目が始まったばかりなので、次の4期目での見直しを役員さんで検討していただきたい。	中山間地域等直接支払制度の共同取組活動経費を活用しながら、地域の役員だけでなく、協定参加者が一致協力して耕作放棄地の発生防止などに取り組んでいただきたい。
和知地区	152	市場ふれあい プラザ	和知支所	今は何でもパソコンの時代となり、高齢者はパソコンも使えず手書きをしている。役場でコピーなど、手助けをしてもらえないか？	職員にはできるだけ申請書等は手伝い、皆さんの手足となるよう話しています。和知支所に相談いただければ、できる限り担当がお手伝いをします。	当日回答のとおり
和知地区	153	市場ふれあい プラザ	総務課	若者の就労(職員の募集)について、毎年若干名の採用があると思うが、「京丹波町内に住みたい」また、「住んでいる若者」を採用することはできないか。	担当者には指示しております。人件費の削減はしなければいけません、職員の世代交代もしなければならぬので採用はしています。不況の関係かもしれませんが、多くの方が応募されます。採用試験は、一次試験が筆記、二次試験が作文と面接です。コミュニティを守るためにも地元の方を採用したいと思っています。まずは、第一関門を突破(一次試験を合格)してほしいと思います。	一次試験(筆記、作文) 二次試験(面接)

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
和知地区	154	市場ふれあい プラザ	和知支所	和知第二小学校(篠原)や市場プールなど、壊すのではなく、何か利用方法はないのか。	いろいろな申し入れを受けて計画が進みかけると、様々な団体から要望が出ました。 旧和知第二小学校については、ゲートボール場の要望がありましたが、校舎がネックとなり、実現していません。 平成22、23年度の区長さんには「放置することはできないので、更地にしたい」との思いを伝えて了解を得ました。現在、解体工事の設計中であり、平成24年度以降に取り壊す予定です。 敷地の利活用については、今後考えていきます。 プールについては、防火用水がないので非常用水として残しています。建物については貸したりしていましたが、維持費もかかり、今後の利活用について、地元から良い知恵があれば出していきたいと思っています。	当日回答のとおり
和知地区	155	市場ふれあい プラザ	総務課	ふるさと納税について、どのように取り組まれているか。する気にならないと言う知人の声がある。	ふるさと納税について啓蒙していますが、なかなか難しく実績が上がっていません。九州の方から多額の納税があります。東京の須知高校同窓会等で話をし納税いただいたこともあります。平成23年度についてはできておりません。	ふるさと納税制度については、町ホームページにも掲載し制度の周知と寄附の呼びかけを行っておりますが、今後におきましても啓発に努めてまいりたいと考えております。また、ご寄付いただいた方一人ひとりの希望をまちづくりに生かしていきたいと考えております。
和知地区	156	市場ふれあい プラザ	総務課	財産区について理解できていないが、町からの補助があるのか。	財産区とは、特別地方公共団体として位置付けされ、京都府知事が認可しています。特別会計の財産区予算は、財産区のものであり、縦貫道建設で土地が売れるなど財産の売却によるものもあります。町の補助はありません。 昔は、財産区の予算で小学校を建築していた時代もありました。	当日回答のとおり
和知地区	157	長瀬公民館	産業振興課	高齢化が進み、家を出られた方もあり、荒廃した民家が多くある。こうした民家等の管理を町で取り組んでいただけないか。	個人財産の管理は、町(税金での管理)では難しい。空き家バンクの制度もあるので相談に応じる。	当日回答のとおり
和知地区	158	長瀬公民館	土木建築課	高齢化が進む中で、3箇所町道の清掃作業を行っているが、今後手におえなくなってくるがどうすればよいか。	町道の管理はできる範囲で管理いただいて、できなくなったときはそのときとして相談いただいたらどうか。	高齢化等で管理が出来ない集落がありますが、今後とも維持管理にご協力いただきますようお願いいたします。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
和知地区	159	長瀬公民館	和知支所 保健福祉課	中部・北部地域に高齢者の憩いの場を作ってもらえないか。(要望(長期的)で再掲)	憩いの場所はあったほうがよいと思う。具体的には6区の皆さんと協議して決めていきたい。	京丹波町老人クラブ連合会支部及び事務局(社会福祉協議会)と検討します。
和知地区	160	仏主すこやかセンター	総務課	当区は原発の避難地域ゾーンに該当しているが、南丹市でも説明会が開催されたようであるが、本町としてはどうか。	仏主はEPZゾーンに該当している。風向きによっては北部5集落まで影響すると思われる。一番良いのは、丹波自然運動公園まで非難いただくのが良いと京都府も考えている。町としては、和知ふれあいセンターと自然公園への避難を考えている。10月には説明会が開催できると思っている。	平成23年10月17日に住民説明会を実施しました。今後、国の動向を見ながら、京都府など関係機関と連携して原子力防災対策を進めていきます。
和知地区	161	仏主すこやかセンター	土木建築課	本センターの前の府道は舞鶴まで通過するようなことを聞いたがどうなのか。個人的には反対であるが。	まだ取り組めていないのが現状。京都府の財政から言ってまず無理だと思う。	計画はありません。
和知地区	162	和知ふれあいセンター	教育委員会	須知高校に関してだが、和知地区から一人も通学していないと聞いた。理由として、通学に費用がかかる。他の学校に比べそんな色ない程度の補助があるのか。それとも差があるのか。金額的に有るか無いかで結構です。	須知高校以外の学校に比べて通学費が高いかは分からないが、高いと行ってこられたことへの対策は立てたと思っている。しかし、これで全てだとは思っていない。須知高校の関係者と話をしたが、大変暗い印象を受け協議を重ねた結果として、2つの施策を実施した。今後も綿密に連絡をとって、しっかり須知高校を守っていききたい。 平成22年3月の和知中卒業生は、35名中須知高校へ8名が入学した。平成23年3月今年、20人のうち3名須知高校へ入学した。3中学校合わせて約80%弱の生徒が須知高校で占める割合である。教育の中身、部活、バスの補助など工夫していただいている。選択肢が広がったので、中身を充実して、子どもたちが来たい学校になるよう頑張っていただいている。教育委員会、中学校も一緒になって守っていききたいと考えている。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
和知地区	163	和知ふれあいセンター	住民課	草刈で刈った草を処理する場合、乾燥させ焼却したいのだが、皆さんの思い違いで、それが野焼きとして扱われ絶対燃やせばダメというようになっていると思うが、実際はどうなのか。法的に罰せられるのかどうか。町においての取扱を教えて欲しい。 もちろん、自分の責任で回りに迷惑をかけず、身の安全を確保することは当然である。煙を出していればダメな風に思われ、通報され消防車が来る、といったことが往々にしてある。危険の無いように自分の責任で燃やしておれば、何ら問題は無いという町長からご回答をいただいたので、納得する。地域でも質問があれば、そのように応えたい。	畦畔を刈られた草を燃やしてもらっても、他に類焼しないようであれば結構です。燃え難いからといって、木や紙といった他のものを持ってきて燃やせば多少の問題が出てくる。刈った草を燃やすだけなら燃やしてもらって結構です。また、野焼きということになれば、複数の者が出て、刈らずに燃やすイメージがあるので、多少誤解があると思う。 但し、その場合、他に類焼しないように、水利を確保し余程の注意が必要である。自己責任において燃やさなければならぬ。消防団に出てもらわなければならないことが毎年ある。	野焼き(野外焼却)は、法律で禁止されており罰則もあります。ただし、農業・林業を営むためにやむを得ないものとして行われる畔の草や下枝などの焼却、たき火など日常生活を営む上で通常行われる軽微な焼却は、禁止の例外とされています。 しかしながら、禁止されていないものでも、煙・臭いなどで近所に迷惑がかかる場合は、やむを得ない焼却とは認められず、控えていただくよう指導しています。 禁止されていない焼却を行う場合でも、火災にご注意いただくことはもちろんですが、周辺環境に配慮していただくようお願いします。
和知地区	164	和知ふれあいセンター	子育て支援課	ファミリー・サポート・センター事業(資料P6)の概要について、説明して欲しい。	地域の中で、預かって欲しいという会員、預かって良いという会員を募り、時間単位で報酬を支払うということになる。世代間交流も含めて取り組みたい。委託事業として準備をしている。今年度末くらいに会員になってもらい、来年度くらいから積極的に活動してもらおうということで進めている。その予算が今年度計上されている。 公の施設へ預けることが煩わしいということがある。近所の顔見知りの方なら、気軽にお預けられるということから要望がある。3箇月から乳児ということでお預かりする制度としたい。なぜなら出産され3箇月も経つと働きたい主婦がたくさんいらっしゃる。預けた赤ん坊を中心に地域の絆が深まる。女性の社会進出を助け、少子化対策にもなる。地域の活性化にも繋がる。婚活支援事業についても、地域のひとつの文化として、仲人、所謂お節介文化を復活させたい。	ファミリー・サポート・センター事業は、京丹波町社会福祉協議会への委託事業として実施しますので、詳細については町社会福祉協議会へお問い合わせください。
和知地区	165	和知ふれあいセンター	子育て支援課	本年度計上されている300万円は、準備経費ということであったが、来年度から予算は増額されるのか。	人と人を結ぶ事業であるため、アドバイザーにお世話になり、庁内全域のそれぞれ会員に出会っていただき確認してもらおう予定であるので、訪問経費や保険の支払いも含めて予算化している。来年予算は、増額になる予定である。一時預かりは、保育所でも実施しているが、緊急時の場合を対象としている。ファミリー・サポート・センター事業は、広く小学生も対象としている。幼い時から地域の人と顔見知りとなるという利点もある。	予算措置につきましては、会員数等事業の実施状況に応じて検討して参ります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
和知地区	166	和知ふれあいセンター	産業振興課 和知支所	3月12日からJRの特急が和知駅に停車しなくなったり、シャッターを閉める店も出てきている中、林業大学校が開設される予定であり、明るい話題である。学生に住まいについて、大野ダムの空き官舎があるが、そういうところに入居できないのか。	京都府のほうからも、その施設を利用できないかというようなご意見が出ているようですが、まだ具体的な話は聞いていない。	開校を前にして、学生の下宿先を募集しています。ご協力していただける方があったら、情報の提供をお願いします。
和知地区	167	わち農村環境改善センター	総務課	平成23年3月末の公債費の残高はいくらか。	一般会計で約151億円、特別会計で約190億円余りあり、合わせて約340億円である。	当日回答のとおり
和知地区	168	わち農村環境改善センター	土木建築課	震災、台風12号など想定外の大きな被害が発生している。中区において、少し前に民家の裏が崩れたが、すぐに復旧工事を行っていただいた(礼)。橋を渡って角側に少し行ったところで、府道の崖崩れが発生し土のうを積んでもらったが、2年近く放置されている。府道か町道かわからないがどのように対応されるのか。	京丹波町内のことについては、府道であれ町道であれ、行政で責任を持って対応するので聞かせていただく。府道市島和知線であり、南丹土木事務所の管轄となっている。復旧については、モルタルによって法面を覆う法面保護工で今年の11月ごろに発注し、今年度完成予定である。	京都府に確認したところ、防災工事を行う予定で、先日入札も済んで業者も決まっており、着工の予定です。
和知地区	169	わち農村環境改善センター	土木建築課	中区の区長であるが、先ほどありました中と角の間の府道の改修について、早急に対応いただくよう京都府に働きかけをお願いしたい。	-	京都府に確認したところ、防災工事を行う予定で、先日入札も済んで業者も決まっており、着工の予定です。
和知地区	170	わち農村環境改善センター	住民課	春先に区内の生ごみ収集庫を区で修理したが、町で対応願えると聞き、町に相談したがいまだ返事がない。どのように対応していただけるのか。	きちんと対応し、間もなく振り込みさせていただく。	手続き完了しました。
和知地区	171	わち農村環境改善センター	企画政策課	「町長と語るつどい」に始めて参加したが、町民として自分自身も町の考え方をまとめるよい機会を与えていただき感謝している。町を知るよい機会であり、今後も継続して実施してほしい。	励みになるご意見を頂戴しありがたい。皆さんからお聞かせいただいたことを政策に活かしていきたい。和知診療所の医療の充実、町民バスのデマンドバスの実施など、高齢者が健康で元気な町にしていきたい。皆さんが、普段の生活の中で感じたり考えておられることを吸収する場所であり、思っておられることをお聞かせいただきたい。	身近な地域課題やまちづくりの将来ビジョンなどについて、意見を交わし、ご提言をいただける対話の場として、今後も、継続して実施していきたいと考えています。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(当日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
和知地区	172	広野公民館	水道課	広野・綾部線ができたとき、水道のパイプで水を送るという話を聞いていたが、橋にパイプはつけられないとの返答であった。	新府道の強度計算には入っておらず、橋にパイプをつけるのは不可能ということです。府道から船戸橋への敷設ということです。	新設の府道に水道管を布設する予定はありませんが、西部地区の統合事業により、今後現在の府道に新たに布設する予定としております。
和知地区	173	広野公民館	水道課	旧道にパイプを埋めるということか？いつ頃から予定か？	そのようになっております。8月23日に入札公告、9月26日に入札、10月上旬に地元役員等への説明開始の予定です。	広野地内の水道管布設に向けての測量設計業務を発注し、10月3日付けで契約いたしました。全線の測量設計ではありませんが、来年度には全路線の測量設計を終え、地元関係者・京都府等関係機関との協議をしながら早期完成に向けて進めて参ります。 (広野区長様へは連絡済です。)
和知地区	174	広野公民館	医療政策課	和知診療所では、医師が不足しているとのことであるが、5時から受け付けて夜間診察はしないのか？	毎週木曜日に、垣田医師が診察しておりますのでご利用ください。	当日回答のとおり
和知地区	175	広野公民館	企画政策課	「語るつどい」に町の幹部職員が来ているが、支所を重点にして懇談会をしてもらおうと、見慣れた人、窓口の人なので女性も参加しやすいのではと思う。人件費も要るので地域で2回ずつ実施し、肝心なことは後で回答してもらえばよい。	一年に一度の機会なので、できるだけ地域に来させてほしいと思っています。手当については、幹部職員なのでご心配には及びません。人数が少なくても、ご案内いただいたら、行かせてほしいと思っています。	地域支援室では、できるだけ多く、多様な方に来ていただき、色々な意見を伺えるよう、会場、内容等工夫しているところです。今後も皆様のご意見をお聞かせください。

平成23年度 町長と語るつどい 意見集約

質疑 【後日回答】集
全 77 件

平成23年6月30日 ～ 9月9日 実施 【22会場】

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	1	曽根公民館	税務課	町税において、現在の未収金額はいくらあるのか。	当初予算が、執行できなくなるほどの額ではない。税機構という組織ができ、専門的に徴収してもらっている。町としても、1名専門的に雇用したので、今まで以上に努力して収納率向上を目指し取り組んでいる。	町税の未収金額については、「議会だより」で全戸配布されており、また、質問者には当日回答のとおりで理解を得たものと判断します。
丹波地区	2	上野住民センター	総務課	福井原発に事故のあった時どう対応するのか。具体的な対策があるのか。府・関電とも協議しながら安全対策を早くから取り組んで欲しい。	－	京丹波町地域防災計画の原子力発電所防災対策暫定計画の策定をはじめ、住民避難計画の作成、住民への普及・啓発、避難訓練の実施など、原子力防災対策を的確に推進していきます。
丹波地区	3	上野住民センター	水道課	23年4月に上水が止まった理由は何か。天災なら仕方がないが、子供が風呂に入れず帰ってきた。このような事のないように。	－	上水道が断水となる理由は、天災だけに限らず施設の経年劣化による水道管の破裂など多種多様であります。お尋ねの4月の断水は、配水地に送るポンプの動作不良が原因でした。今後におきましてもこれまで同様に、予期せぬ事故に対して、昼夜を問わず対応できる体制を整え努力して参ります。
丹波地区	4	健康管理センター	企画政策課 土木建築課	丹波ひかり小学校下の町道と国道9号へ抜ける道(町道ひかり小学校線)の交差付近。車両が通り抜けられないように柵が設置、施錠してある。災害等有事のときに外して通行できるようにすると聞いたが、カギの所在が不明である。調査して、カギの管理先を明確にしてほしい。	現地を調査して、カギを地元に残せるなど対応する。	平成12年4月に丹波ひかり小学校は開校しましたが、小学校建設にあたり、公安委員会との交差点協議の条件で交通安全上、旧町道はバリアカーにより閉鎖を余儀なく強いられ、鍵は土木建築課で管理しております。地域振興等の目的等で祭りの時の一時使用は可能と考えておりますが、災害等有事の時は、鍵を総務課緊急車輛等に備え付け開閉を行います。
丹波地区	5	健康管理センター	産業振興課	平成19年11月ごろ、京都大学大学院の農学研究科だったと思うが、農事組合長を対象に獣害防止対策の研究のためアンケートが実施された。その結果が出ていれば、報告いただきたい。	把握できていないが、調査し、実施者と結果がわかれば、何らかの方法でお返ししたい。	京都大学大学院農学研究科が実施した聞き取り調査でありました。報告書は調査中であります。
丹波地区	6	下山集会所	土木建築課	4年ほど前に国道27号白土地区にある跨線橋のガードレール改良の要望をしたが返事が未だに無い、今すぐこの場で返事がほしい。	1週間以内に調べて返事する。	当時道路改良により京都府が付け替えとして整備し国が引き継いでいたものが老朽化しており、現在国土交通省に管理頂くよう協議を進めています。
丹波地区	7	上豊田住民センター	総務課	ダンマーク横のグランドゴルフ場を借りに行ったが、断られた(参加者の中に南丹市民が入っていたためか。)ことがある。規約ではそうらしいが、改正はできないのか。	詳しいことがわかりませんので、一度調べてみます。	町民の方々の健康増進の観点から利用者を町内住民に限定し利用いただいているところであります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	8	清涼館	土木建築課	GH区で昨年開催された「つどい」での要望がほとんど実現していない。例えば、区内道路を町道として管理をお願いしたいという意見が出ていた。せめて、町営バス運行路線だけでも町道に昇格できないか。10年以上要望を続けている。	町道のことは、以前から聞いている。指示をしていたが取り扱いできていないことを申し訳なく思う。早速担当課に再度指示して、できるだけ早く努力をした。	グリーンハイツ内の道路は地元自治会の名義になっておりますが、分筆登記を行ってから町道に必要な土地のみを町道としますが、地権者も多く全員の承諾は困難であるため、検討に時間が必要と考えます。
丹波地区	9	清涼館	総務課	GH区で昨年開催された「つどい」での要望がほとんど実現していない。例えば、火災時、GHの貯水槽への水補給は、栄農橋の横から消防車が高屋川に降りる道があったが、その空き地が転売され垣が出来た。営農橋から給水は困難と聞いている。町の消防担当で解決ができるようにしてほしい。	早速、現地を教えていただいて、どのようにすればよいか考える。役場に、よく足を運んでいただいていることも承知をしている。それなりに、相談をさせます。具体的にお答えできず申し訳ないが、高屋川の取水ができるかできないか、21班の貯水池の水を先に抜いたことについて対応していきたい。	火災時の防火水槽への水補給は、消火栓により対応することになると考えられます。河川等の自然水利からの水補給や消防ポンプの点検時に使用できる場所については、現在、町と地元消防団で検討しています。
丹波地区	10	清涼館	総務課	GH区で昨年開催された「つどい」での要望がほとんど実現していない。例えば、21班の山陰線の線路側の斜面に貯水池があったが、現在使えない。有事には大変危険である。代わりの防火用水池を作ってから穴を開けるべきだった。町の消防予算で対応してほしい。	早速、現地を教えていただいて、どのようにすればよいか考える。役場に、よく足を運んでいただいていることも承知をしている。それなりに、相談をさせます。具体的にお答えできず申し訳ないが、高屋川の取水ができるかできないか、21班の貯水池の水を先に抜いたことについて対応していきたい。	GH区と協議し、同区内に防火水槽を設置することとなりました。
丹波地区	11	清涼館	住民課	グリーンハイツは、大変、猫が多く、糞害がある。宅地内での死亡もある。どうして解決をしたらいいのかわ聞きたい。(死亡した猫は)衛管に持参してほしいと聞いている。一種の公害的な状態をどうしていくべきかを聞きたい。	京丹波町は猫が多く、その回収の仕事が多いということを住民課の職員から聞いていたが、今、聞いたような感じでは受け止めていなかった。対策を立て、区長さんを通じて返事をしたい。	猫は、犬のように登録したり、つないで飼うことを規定する法律等がないため、外飼いの飼養者が多い現状では、野良猫と区別できないことから捕獲することができません。町としても対応に苦慮しているところです。猫を近づけない方法や、飼い主に対しては屋内飼育や不妊手術を啓発し、状況の改善に取り組んでいるところです。
丹波地区	12	清涼館	土木建築課	町道下山日吉線とバイパスの交差部に信号機は付いたが歩行者用が機能していない。中央分離帯は削っていたが、横断歩道をつけるのか。	許可するのは、公安委員会、国交省といろいろあり、難点があることを担当課はよく知っている。横断歩道もつける予定である。確かめて返事をさせていただきます。	今年度工事で対応いたします。
丹波地区	13	富田公民館	教育委員会	高原小学校で、以前、古い道具を出してほしいと展示されていたが、ひかり小学校に統合になってから、それらは須知小学校の廊下に放ってあるように思う。活用するか、必要がないのなら返してほしい。	須知小学校は、学童保育に利用しているので行っていますが、確認し検討します。	現状は、旧須知小学校内に郷土資料保管室を設け保管をしていますが、保管室に入りきらない大きな資料については、廊下に置いています。現在も、必要に応じて学校の教材として活用があり、さらに有効活用や展示場所の確保等検討していきたいと思います。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	14	富田公民館	土木建築課 産業振興課	須知川(富田)の井堰については計画はないのか？ 老朽化しているのでくれぐれも検討してほしい。	現地に入って確認します。	井堰については、須知川の改修計画に入っていません。 地元で改修計画が立てば補助金等のご相談に対応させていただきます。 京都府に確認したところ該当の箇所の河川改修の計画はありません。農業用施設の改修補助事業として京丹波町農林漁業事業補助金を検討いただきますようお願いします。 (事業費が10万円以上200万円未満の事業に対する補助率10分の5以内の補助事業です。)
瑞穂地区	15	梅田振興センター	税務課	個人の国保税額について	担当課より連絡させる。	翌日、税務課より質問者に回答し、理解を得ました。
瑞穂地区	16	妙楽寺公民館	産業振興課	5月29日の台風2号による大雨で田の横の護岸がくずれ土砂が堆積した。災害復旧に300%の地元負担を求められた。瑞穂町時代に同じ場所で地元負担なしで5回も復旧してもらった。農業用水路であれば理解するが、川を直すのに受益者負担を取るの はおかしい。町が全額負担で復旧してほしい。30%負担しなければならないのであれば復旧しないほしい。	農業施設として農林関係補助金を適用し、さらに災害対応として補助率を通常の50%から70%に上げて補助金交付をすることし、農家組合に交付決定通知をしたところである。 今日は意見交換とさせていただいて、調査して後日報告させていただく。	担当課長が8/9区長に面会。準用河川ではなく農業用水路であり補助金で対応させていただいていると報告しました。また、8/11本人に面会。合併後の対応を含め説明、町の補助金対応について了承されました。
瑞穂地区	17	三ノ宮基幹集落センター	住民課	野焼きは禁止という認識でいる。ビニール等を燃やすとダイオキシンが発生するということだと思う。昨今、放射線は何ミリシーベルト以上は危険と言われるが、ダイオキシンにもそういった基準はあるのか。	草を焼くだけとかは大丈夫という見解である。(ダイオキシンは)どれ位の量というのは言えない。子供や孫の時代のためにも大切なこと。区長さんを通して答えるようにする。	ダイオキシン類対策特別措置法で基準が定められており、ダイオキシン類を人が生涯にわたって継続的に摂取したとしても健康に影響を及ぼすおそれがない一日あたりの摂取量は人の体重1キログラムあたり4ピコグラム(1ピコグラム＝1兆分の1グラム)と定められています。厚生労働省が平成18年度に実施した調査では、国民の摂取量はこの基準を下回っていることがわかっています。 野焼きはダイオキシン類の発生だけではなく、煙や臭いで周辺環境に悪影響を与えたり、火災発生の原因になるおそれもあるため、畔の草や下枝の焼却など農業・林業を営むためにやむを得ないものや、たき火など日常生活を営む上で通常行われる焼却で軽微なものを除いて禁止されています。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
瑞穂地区	18	三ノ宮基幹集落センター	企画政策課	耐震診断の補助3万円(？)、また改修にかかる府補助としての60万円から90万円は引き続いてされるのか。公民館等は耐震できているのか。避難所となっていることから、耐震基準を満たしていなければ補助金はもらえるのか。	改修にかかる府補助は60万円から90万円と変わった。町もそのようになる。公民館もできるのかは、後日返事したい。 自治振興補助金という制度もあり、活用いただいたらよい。	個人の木造専用住宅についての耐震診断また耐震改修については引き実施をしていきますので活用ください。公民館の耐震診断及び耐震改修に係る補助につきましては、自治振興補助金で対応させていただきます。耐震診断は、昭和56年5月以前に建築された木造の集会所で、京都府木造住宅耐震診断士登録簿に掲載された診断士によることし、5万円が上限補助額としています。また、診断により耐震改修工事をされる場合は、設計費、建築費を含む総額の1/2で上限補助額は500万円とすることとしています。
瑞穂地区	19	質美振興センター	土木建築課	府の河川改修にあたって、ずいぶん前の災害であったが、次の災害にかけようという話になり、何年も摘み残ったままである。災害復旧事業は、早くに取りまとめ、計画的に直してほしい。(府・町とそれ以外のもあると思う。)	担当者を行かせるので、教えてやってほしい。府河川のことであっても、町の担当者も知っておく必要がある。	地元を確認したところ場所の特定が出来ましたので、資料を添付し京都府南丹土木事務所に報告いたしました。
瑞穂地区	20	質美振興センター	土木建築課	もろち峠の草刈りについて、地元でもやっているが、回りの木が大きくなってきて、林が迫っている。高いところは、難しいので、森林組合への委託など、検討いただけないか？	現場を確認し、土木建築課と相談する。	特に支障のある箇所につきましては、地権者の承諾の元枝の伐採を行ないました。
和知地区	21	市場ふれあいプラザ	企画政策課	須知高校通学助成金1/2補助は、活性化にもつながるので今後もご尽力をお願いしたい。バスの路線について、大倉・升谷線から升谷教育センターまで路線変更できないだろうか。現在も要望しているが、子供たちが国道を渡って通学しているので、お願いしたい。(要望書も提出しているが。)	いろいろな手続きがあり、京丹波町だけでは路線変更できません。新路線を作るには、交通懇話会での協議や近畿運輸局の許可など、様々な機関での検討が必要です。	要望に答えられるよう、検討していきますが、道路の幅員等課題もありますので、皆さんと協議をしていきます。
和知地区	22	市場ふれあいプラザ	産業振興課	中山間地域事業で、受益者が草刈や掃除などの維持管理をしている。不在地主が又貸しをしたり、新規就農者が4集落で農地を借りているケースがある。年に数回の草刈作業に参加しない場合もあり、役場からの斡旋時に、農地内で既存農家と新規就農者との間に摩擦が起きないよう、受益者が義務を負う指導をお願いしたい。	多集落に農地を持つ新規就農者については、農業委員会からも作業負担義務について指導するよう伝えておく。林道や井根掃除などの作業日を4集落が同じ日に設定すると、当然参加するのが無理ですので、前日に作業をしておくなどの対応も必要であると思う。	居住する一つの地域に農地を集積して営農することが理想でありその推進も必要であると考えますが、現状においては、他の集落においても営農ができ、農地が守られるようお互いの状況を理解し合って進めていただきたい。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	23	市場ふれあい プラザ	企画政策課	昨年度、町営バスの路線変更について申請をしたが、現在も引き続き申請している。 交通懇話会で検討すると聞いていたが、変更はされなかった。2系統(仏主線・長瀬線)のどちらか一方を升谷区内まで乗り入れるようにしてもらえないか。 JR和知駅に特急列車が停車しなくなり不便である。 マニフェストに、「嵯峨野線複線電化により近隣の振興」とあるが、和知、下山を京丹波町のJR玄関口として活用してほしい。また、国民文化祭もあるのに、特急も止まらないようなことでは恥ずかしい。次回のダイヤ改正時には停車するようJRに申し入れてほしい。	町営バスについては、バスを小さくしてでも区内を、また、狭い道でも走らせるよう担当課に指示はしています。来年は詳しく答えられえるようにしておきます。 実現していない事につきましては申し訳なく思っています。 また、引き続き、園部・綾部間の複線電化の要望を続けます。要望活動は積極的に進めており、11月6日の国民文化祭には特急列車が停車できるとの回答を受けています。 利用してもらわないとサービスは低下しますので、利用が増えるよう各種団体と協議をしています。	今後アンケート調査等を実施して、皆さんのニーズ等を把握し検討していきます。 当日回答のとおり
和知地区	24	市場ふれあい プラザ	産業振興課	丹波PAの構想については、通過の町を阻止され賛成している。 道の駅「和」は、京都府内で75万人が利用し、府下3位の集客力であるが、それをどのように考え、今後どのように活用しようと考えているのか。	3位はすごいことであり、ありがたいことである。ふるさと振興センターには多額を助成し応援してる。瑞穂地区の「さらびき」、丹波地区の「マークス」、和知地区の「和」それぞれが玄関口と捉えている。和知地区から丹波パーキングエリアまで農作物を出荷するのは速いかもしれないが、どんどん出荷していただきたいと思う。	町内に3本の国道が走り、さらに3つの道の駅があることは珍しく、町活性化の拠点として生かしていかなければいけません。このたび町内の道の駅連絡会が組織されました。それぞれが活性化するよう個性化、差別化を図って入り込み客の増加を図っていくことになります。それをもとにした各道の駅運営主体の取組みに期待しています。
和知地区	25	市場ふれあい プラザ	企画政策課	町長と語るつどいの会場について、4集落の組合せとなっているが、順次、公民館を回れないのか。 昨年度、区長をしており、区長宛に届いた「語るつどい」についてのアンケートにも回答し意見も書いたが、アンケート結果や返答がない。 同様に丹波パーキングエリアについてのアンケートにも回答したが、集約や返答がなされていない。どうなっているのか。	アンケートについて、通常は集約して返事をしています。 丹波パーキングエリアについては、まだ内容の検討中であり、回答・報告できる段階ではありません。 行き違いはあるかもしれませんが、区長さんへのアンケートの結果については、意見を集約してお返ししています。会場の件についても回答しているはずです。	会場については、参加者人数と集約可能人数との調整が必要となりますので、すべての公民館を回るのは難しいですが、今後も町民の皆様が参加しやすい環境を作っていきます。 懇談会の開催に係る事前アンケートについては、昨年の8月上旬に区長さま宛報告するとともに、その結果を参考にさせていただいています。 丹波パーキングエリアのアンケートでいただきましたご意見については、ワーキング会議での意見と併せて基本計画の中に盛り込み、策定いたしました。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	26	市場ふれあい プラザ	総務課 土木建築課	町民一人当たりの負債額を教えてください。長瀬橋、畑川ダムなど環境破壊もあり、不要なものに思える。政策に賛成したわけではないが、大きな負担を若い世代が引き継いでいかなければならない。東日本大震災を見ていると、大野ダムや和知ダムが決壊したらどうなるのか、下流に住むものは不安を抱えている。データがあれば町民に教えてください。	負債額は、町民一人当たり90万円です。被害の想定はしているはずであり、データがあれば公表すべきと思っています。立派な良い橋であり、有効利用してください。和知のような水が豊富な所でも、生活用水、農業用水が不足し、畑川ダムに頼ることになります。総事業費77億円の17～18%を京丹波が負担しています。創味食品からは、1日3,000トンの要望を受けています。工場を誘致し、生活用水を増やし住宅開拓地に上水道施設を整えて住民を増やし、畑川ダムを有効活用し地域振興していきたいと考えています。	(町民1人当たり負債額) 平成22年度末での町民1人当たり負債額は、一般会計分は92万円、全会計分では209万円です。 (算出は「年度末残高」÷「住基人口(H23.3.31)」)
和知地区	27	長瀬公民館	産業振興課	篠原区から要望したい。 有害鳥獣被害、特に猿害が多く発生。高齢化の中で区民もがんばっているが、被害により生産意欲が失われ、農地の荒廃化に結びつくのではないかと心配している。(町の)バトロール的な形での対応をお願いできないか。	鳥獣被害については、根本的な解決には至っておらず、心を痛めている。国が生産者の気持ち(ダメージ)を理解し、法律を立法措置してくれることが解決につながると思う。猿害は電柵、金網では対応できないのが現実であるが、現状ではバトロールは困難である。鳥獣害特別措置法を作り、頭数を減らすことが大切である。要望は国会議員に伝える。	当日回答のとおり
和知地区	28	長瀬公民館	企画政策課	篠原区からの要望① 山陰線複線化が園部駅で止まっている。和知地域には3つの駅があり、園部綾部間が複線化すれば、通勤時間も短縮され、定住人口の増加につながるのではないか。町の取り組みなり状況についてお聞かせ願いたい。	園部綾部間複線化要望活動については、行っているが、JRも儲からないところへの投資は難しい。今後も、府、関係市町とともに早期実現に向けてさらに要望活動を行っていく。	当日回答のとおり
和知地区	29	長瀬公民館	総務課 産業振興課	篠原区からの要望② 原発問題について、農作物への放射能の影響はないのか。京丹波町も調査し、安全性をアピールしなければならない。本町の米の調査への取組状況はどうか。また、関西電力がしてくれるのか。	農作物の検査は、町独自では考えていない。京都府が示した20km範囲の対策を指針に基づき、南丹広域振興局管内で共通した対策を立てていく。本町では、北部5集落に具体的な避難方法等を近々お示しする。府、関西電力等に出席してもらい説明会を開催する予定である。	京都府が振興局単位で農作物等の検査を定期的を実施し安全性を確認しています。検査対象は、主食用米をはじめ小豆、黒大豆、みず菜、ほうれん草、飼料用米、稲わらなど。現在まで放射線物質は、すべて不検出という結果であります。 原子力防災に係る住民説明会を10月17日に開催済みです。 案内範囲:北部5集落住民、和知地区区長、消防団、町議会議員

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	30	長瀬公民館	医療政策課	京丹波町の医療を支えるという視点で、奨学金(医師確保奨学金)制度はすばらしいことだと思うが、それに答えられるだけの人材が確保できているか。できれば京丹波町からそういう人材が出てほしい。小・中学生の段階から学力を持った子を育て、「将来社会の役に立つんだ」と言う人材の育成と、啓発が必要である。そういう教育の方向性を考えていただきたい。	医療の奨学金制度にちなみ、よい提言をいただいた。まさにそのとおりだと思う。地域医療に積極的に携わっていただける志の高い医師を招きたい。	当日回答のとおり
和知地区	31	長瀬公民館	総務課 医療政策課 保健福祉課	上乙見区は高齢化が進み、超限界集落であり、水害が心配される地域でもある。支援策について考えていただきたい。また、医療、独居老人問題等も含め相談に乗っていただきたい。	災害対策については、上乙見は土砂災害危険地域となっており、今年府や警察、消防とともに視察に入らせてもらった。現状を見た上で、防災計画を立て、避難訓練を実施するよう職員に指示している。	11月13日に上乙見区を対象とした住民避難訓練を実施しました。
和知地区	32	長瀬公民館	水道課 産業振興課	町内水道施設整備は進んでいるが、おいしい水とはいえない。水質の研究をし、観光面と合わせて考えてほしい。	水道水の水質については、安全を第一に考えており、水質向上にはかなりの費用を要する。余裕が出てくれば水質向上にも努力していきたい。 奨学金制度も2年目であるが、申出者はない。中学校の病院への職場体験を通して、医療のすばらしさを学ぶなど教育長の方で積極的に取り組んでいた。この制度は、町から15万円、府からも15万円、月30万円の貸与となり、義務期間が過ぎれば償還の必要もなく、優遇された制度である。医師確保には万策を持ってあたっており、近いうちにより成果が出ると思う。	安全を第一に考えて塩素消毒を行うと、多少はカルキ臭いということになりますが、水質保全のためにご理解をお願いします。 他市町村では水道水を観光面と合わせて「おいしい水道水」として販売されておられるところもあり、今後、余裕が出てくれば考えていきたい。
和知地区	33	長瀬公民館	医療政策課	和知診療所について、町長は選挙前に「一年以内に、元の状態に戻したい」と言われた。努力いただいているが、できるだけ早く元に戻していただきたい。また、現在の診療は曜日ごとに医師が違う。以前からおられる医師も土井先生だけで、午後の診療となっている。個人的なお願いだが、土井先生を午前中の診療としてもらえないか。	和知診療所については、できるだけ早い時期に安心して受診してもらえるように努力していく。なるべく早く常勤医師の確保をしていきたい。	和知診療所については、回答のとおり 土井先生はご多忙なお方で、他院勤務及び自宅医院勤務があり、あらゆる調整の結果、月曜日の午後に和知診療所へ診療に来ていただいています。本年度については現状でご理解を賜りたい。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	34	長瀬公民館	医療政策課	薬局について、院外処方となり高齢者にとって不便かつ冬季は凍結し危険である。これまでのように薬も診療所内でもらえるようにしてほしい。	院外処方については、ご不便をおかけしているが、国の指針に従ったものであり、ご理解をいただきたい。今後、解決策を模索していきたい。	国の医薬分業の方針に基づき実施しています。和知診療所では、10月から院外処方箋専用のFAXを診療所の待合室に設置させていただき、FAXで保険薬局あてに処方箋を送付いただくように改善させていただいています。また、近所の保険薬局で薬が出来るまで、診療所の待合室でお待ちいただき、薬が出来れば連絡をいただくようにしております。尚、京丹波町病院でも来春から外来の全面院外処方を導入予定です。
和知地区	35	長瀬公民館	水道課	水道の水量のことだが、高い地域であり一方で出せば一方が出ない状態にある。水道係に言っているが見に来てもらえない。状況確認をしてほしい。	水道の件は、一週間以内に水道課の職員に調査に行かせる。	説明会后、9月1日に塩谷地区へ行き現場確認を行い、水道メーター付近のストレーナー<ゴミ等を防ぐ網>にゴミの付着を発見し、清掃を実施しました。ご本人様も納得いただき、水圧は回復しました。
和知地区	36	長瀬公民館	土木建築課	府道12号線の経塚のカーブが非常に危険である。京都府に改良を要望していただきたい。	府道の改良については、今後も引き続き要望活動を行っていく。	今後も引き続き要望いたします。
和知地区	37	長瀬公民館	土木建築課	長瀬区から2箇所の府道拡幅のお願いをする。塩谷川の橋から経塚までの間と、郡境の神社の下の大きなカーブのところが見通しが悪い。区として以前から要望している。町からも積極的に要望してほしい。	府道の改良については要望していく。	当日回答のとおり
和知地区	38	長瀬公民館	土木建築課	府道の河谷建設前の歩道の真ん中に大きな標識がある。除雪また歩行に邪魔であるので移設をお願いしたい。	府道の改良については要望していく。	府民公募型安心安全整備事業での対応をお願いしております。
和知地区	39	長瀬公民館	土木建築課	塩谷から府道に合流するところに一部歩道が狭いところがある。大きな除雪車では除雪できないので、京都府に拡幅の要望をお願いしたい。	府道の改良については要望していく。	府民公募型安心安全整備事業審査委員会で検討されましたが、占用者との調整に時間を要することから実施できないとのことでした。
和知地区	40	長瀬公民館	水道課	水道の旧施設が撤去されずに放置してある。できるだけ早く撤去願いたい。	現地確認し、対応する。	語るつどい前に現地を確認し、区長さんへは電話で来年度以降撤去する予定にしたいと伝えていました。来年度予算で撤去する方針とし、再度区長さんへ連絡をし、了承いただいたところです。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	41	長瀬公民館	土木建築課	大迫上乙見線に樹木が生い茂り、トンネル状態となっている。危険な箇所ので地元では、伐採しにくい。町において枝の伐採をお願いしたい。	私有地については、所有者の了解が必要となり難しい。区で所有者の了解を取ってもらわなくてはいけない。(区長…了解は取れる)現状の確認に職員を行かせる。	町道につきましては、各集落において除草等の維持管理作業をお世話になっているところですが、ご要望のような高所急斜面の作業等危険を伴う箇所については、現状を調査のうえ、町による年次計画的な対応を今後検討していきます。
和知地区	42	長瀬公民館	産業振興課	長瀬区は体験公園があり、区民上げて公園を守っている。オートキャンプ場はリピーターも増え来客数も多いが、貸農園はすべてキャンセルになり、機能していない状況にある。オートキャンプ場下の排水対策と体験農場と遊歩道の段差解消をお願いしたら、平成23年度に町で対応願うと聞いているが、どうなっているのか。	体験公園の改修の件については、調べて回答させていただきます。	排水対策は、本年度に施工する予定であります。遊歩道については、計上変更ができないので、そのまま利用していただきたい。
和知地区	43	長瀬公民館	企画政策課	20年ほど前から「和知駅を守る会」があるが、以前ほどの和知駅を守るという強力な推進力がなくなっている。和知地区振興のために、複線電化、特急問題も合わせて積極的に行政の力添えをいただけないか。	園部綾部間の複線化の要望活動については、困難を極めると思うが続けていく。「和知駅を守る会」については、効果の有無の判断はいたしかねる。	和知駅は京丹波町の鉄道の玄関口と認識し、住民の皆さんとともに活性化に努めたいと考えています。切符販売に対する人件費補助や「和知通リズム」の観光面の取り組み等、和知の駅を守る会を中心とした活動に支援をしています。
和知地区	44	長瀬公民館	土木建築課	府道改修の件であるが、美山側の土木事務所はすぐに対応してくれると聞く。土木事務所により対応に温度差があるように思う。強く要望願いたい。	ー	同じ南丹土木事務所管内でありますので、対応は同じであると認識します。
和知地区	45	仏主すこやかセンター	総務課	防災面について。町の方で防災マップを作成いただいているが、今の時代はいつ何が起こってもおかしくない時代である。この辺りも土砂災害や急傾斜地や高齢者の課題が多々あり、避難所に行くまでに時間がかかる。これだけ大雨が降れば避難しなさいという目安は予めあるのか。	雨の降り方がここ10数年で変化してきた。北部地域5集落の避難訓練もできればという思い。土砂災害については詳細情報があるので、高齢者や災害要支援者名もつかみそれ相当の計画を立てている。	当日回答のとおり
和知地区	46	仏主すこやかセンター	産業振興課	有害鳥獣の問題で、生産意欲が損なわれる。上栗野までは電柵をしている。しかし、猿が問題。1回入ると相当やられる。猿には本当に手を焼いている。個人対応にはどうしても限界がある。町としては補助を出すとかしてもらえるのだろうか。	切実な問題と捉えている。この問題には個人への補助がない。時間はかかるが対応をしていきたい。知事も本問題は分かっているのかという思いが強い。今は有害鳥獣と動物保護の中間あたりで措置されている。今後もこの問題は頑張って対応していきたい。	個人を対象とする有害鳥獣被害防止施設(電気柵、金網フェンス)設置にかかる町補助金制度を追加しました。ただし、補助率は30%以内で、上限単価等要件あります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	47	仏主すこやかセンター	土木建築課	本センター前の府道の迂回路として防災上のバイパスを川向に造るとすれば、お金がないからできない。ということではなしに、地元でここまで協力してもらえればできる。例えば土地を無償提供してほしい。とかそういう内容も含めて町はどうお考えなのか。	元に戻すというならば60年にかかると思う。新設ならば調度半分で30年かかると思う。ゲリラ豪雨やきつい災害があると集落が孤立する恐れがある。新設にはかなり時間を要すると思う。今後もよく考えていきたい。	本年度特に道路曲線の不良箇所について町道仏主溝ノ脇線を改良しておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
和知地区	48	和知ふれあいセンター	総務課	原発問題で、もし高浜原発に事故あるとき、1時間以内にどのような対応をするのか検討されたことは有るのか。特に、和知地区にどのような情報が伝達されるのか。何らかの対策をとって欲しい。	原発事故については、10月17日に説明会をする予定である。町、京都府、専門の先生を招き、出来るだけ詳しい説明をしてもらう。もちろん関西電力も同席してもらいたい。事故の連絡があればすぐ町営バスを現地へ送り、住民を丹波自然運動公園まで運び救出しようと計画している。町内企業には、儲け主義に走らず、地元と仲良くしてください。家族同様の付き合いをして欲しいと話を常にしている。(それは、避難を必要とする時でも家族同様に対応、情報をもらえるから・・)近々、避難訓練をする予定をしている。	平成23年10月17日に住民説明会を実施しました。今年度に策定予定の京丹波町地域防災計画の原子力発電所防災対策暫定計画や住民避難計画等により、原子力防災対策を的確に対応していきます。
和知地区	49	和知ふれあいセンター	産業振興課	町税等、自主財源が乏しいということだが、町民の所得が少ないからであると思う。町内で職場が無い。下山地区の中央テクノパークという工業団地があるが、現在どのような管理がされているのか。もっと、有効に活用して、企業誘致を図っていただき、町民の働く場を確保して欲しい。	自主財源確保については、畑川ダムも完成するので積極的に売り込んでいきたい。テクノパークだけではなく、未給水開発分譲住宅についても荒れ放題となっているところが多くある。国庫補助も活用しながら企業誘致をしていきたい。	当日回答のとおり
和知地区	50	和知ふれあいセンター	総務課	ふるさと納税制度を活用できないか。	ふるさと納税制度については、縁者に会いお願いしていきたい。昨年、須知高校の関東ブロック同窓会に出席し、ふるさと納税制度についてお話し、お願いした。ある程度お答えしていただいた。難しい制度ではある。簡単にご寄附いただけるような町独自のルールをつくっていきたい。	ふるさと納税制度については、町ホームページにも掲載し制度の周知と寄附の呼びかけを行っておりますが、今後におきましても啓発に努めてまいりたいと考えております。また、ご寄附いただいた方一人ひとりの希望をまちづくりに生かしていきたいと考えております。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	51	和知ふれあいセンター	総務課	瑞穂地区3校が廃校となって、和知地区も小学校1校となった。下和知小学校は、現在町営住宅となっている。草刈作業は、卒業生が輪番制で作業している。高原小、須知小、和知第2小、第3小など多くの廃校があるが、今後どのようにされるのか。高原小、須知小の管理はどのようにされているのか。	輪番制で草刈をいただいていることに心から敬意を表したい。統合することにより、多くの校舎、体育館がある。ひとつずつ解決していきたい。高原小学校跡地は、良い場所に有るので、活用したい。除草作業は、年に2回ぐらいシルバー人材センターに委託している。国道27号まで地盤を地上げすることに周辺同意が得られない。和知第1、第2小学校跡地については、地元と相談しながら活用、撤去両面から検討しているところである。三ノ宮小学校耐震をクリアしているので、地元で活用したいという意向が強い。無理であれば近くにある社会福祉法人も活用させて欲しいという申し出があるので、いずれにしてもどこかに活用してもらおう。質美小学校については、使用したいという意見も聞くが、実際無理ではないかと思う。明俊小学校は、体育館は以前から利用されているが、校舎はいずれは撤去しなければならないと地元もおっしゃっている。	高原小、須知小の管理については、除草作業等についてシルバー人材センターに委託を行っています。
和知地区	52	和知ふれあいセンター	企画政策課	告知端末にチャンネル(1、2、3)があり、FM放送が入っているが、NHK放送等ニュースが入るようにして欲しい。地震速報など入るので良いと思う。	ニュースが流れるようになればいいと思うが、調べてお答えします。	センター施設で受信しているFM放送を告知端末機のチャンネル放送として再送信しております。また、J-ALERT(全国瞬時警報システム)による緊急情報は、放送することとなっております。NHK放送の再送信については、今後再送信の可否についてNHKと協議を行いたいと思います。
和知地区	53	和知ふれあいセンター	土木建築課	坂原区内の町道でぬかるんだり、路肩が崩れたりする危険な道がある。区長を通じて要望しましたが、なかなか直らない。町道として管理されないのか。(栗谷線と阿上三所神社から公民館へ下りるところ2箇所、本庄中線)	町道は、町が管理するものなので、管理をお約束します。要望があった以上は、要望に対しての回答は、していると思います。回答しても、たまに本人に伝わっていないときがある。現地すぐ1週間以内に行く。必ず理由をお伝えします。	現地を確認しましたが、要望箇所も大変多い中優先順位をつけて行なっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
和知地区	54	わち農村環境センター	企画政策課	町長と語るつどいの冊子のことであるが、「6月に配布の冊子をご持参ください」と放送されているが、冊子をなくされた方が多くあり、「出席したくてもしづらい」という声を聞いた。「冊子のない方は会場で用意しております」とか、開催日の1カ月前に地域を分けて配布するなどの配慮をしてほしい。	今後気をつける。できるだけよい方法を検討したい。	今年度は、ご要望に応じてつどい資料を全戸配布しました。会場ごとの対象区を設定していますが、どの会場に参加していただいても構わないため、資料を一斉に配布しましたが、いただいたご意見を参考に、今後は検討いたします。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	55	わち農村環境センター	土木建築課	道の駅「和」であるが、建設省(国交省)の土地を分けてもらい従来どおり店が開けるように測量は済んだはずだが、拡張の時期はいつごろになるのか。また、その土地は町が買い取るのか。	平成23年度に予算計上しており、年度中に実施することとなっている。物販エリアの拡大は、間もなく設計が終わる。道の駅「和」から7月から11月は客が多いので、11月以降にしてほしいとの要請があり、現在着々と準備が進められている。10月の公告で、12月ごろに着手、工事期間が3カ月かかる。できるだけ早い時期に使用できるよう、国土交通省と協議していく。土地については、国からの譲渡の事務を進めていく。	当日回答のとおり
和知地区	56	わち農村環境センター	医療政策課	高齢者の生活支援で病院輸送の事業を行っているが、病院の改革により和知から京丹波町病院への通院が増えたと実感する。和知診療所においても、午後の診察ができて非常に便利になり好評であるが、薬が院外処方になり、薬局の構造にもよるが待合スペースが狭く、処方にも時間がかかる。高齢者にとってサービス低下である。	福祉厚生常任委員会でも問題になっており、医療政策課長も「処方については、FAXなどを活用し、スムーズに行えるよう改善していきたい。」と答弁している。ご意見を参考とさせていただきます。	国の医薬分業の方針に基づき実施しています。和知診療所では、10月から院外処方箋専用のFAXを診療所の待合室に設置させていただき、FAXで保険薬局あてに処方箋を送付いただくように改善させていただいています。また、近所の保険薬局で薬が出来るまで、診療所の待合室でお待ちいただき、薬が出来れば連絡をいただくようにしております。尚、京丹波町病院でも来春から外来の全面院外処方を導入予定です。
和知地区	57	わち農村環境センター	企画政策課 和知支所	昨年から、和知ふるさと祭り実行委員会を中心に鉄道開通記念で祭りを行っているが、園部綾部間の複線化促進しようということになり、和知駅の横に「園部綾部間複線化を促進しよう」という看板を有志で設置予定である。町から半分ぐらいの補助をいただけないか。	初めて聞いた話であるが、検討したい。昨年の鉄道100周年記念大会で決議がなされたが、その決議を具現化する必要がある。	地域活性化のための取組として、有志、団体が活動していただくことに敬意を表します。京都府事業として、地域力再生プロジェクト交付金があり、看板だけではなく工夫をした活動、事業を検討いただければと考えます。また、地域支援担当にご相談ください。
和知地区	58	わち農村環境センター	総務課	角区の避難場所が広瀬のお寺になっているが、お寺に行く町道広瀬角線が大きな災害時には崩れる恐れがある。一度確認いただいて危険であるようなら避難場所の変更をお願いしたい。	ご指摘の避難場所については、地域支援室に見に行かせるし、専門家にも見てもらう。北部の避難場所は、(和知)ふれあいセンターとなっているが、大きな災害の場合はまた移動してもらわなければならないので、最初から丹波自然運動公園の体育館まで町営バスで避難してもらうことを想定して説明したい。京都府とも協議し、丹波自然運動公園を災害時の避難場所としていきたい。消防団と連携し、避難訓練も実施していく。	災害の規模や種類(風水害、地震等)によりあらかじめお知らせさせていただいています避難所が使用できない場合もありますので、その際には、できるだけ早く代替避難所等の情報提供をさせていただきます。また、丹波自然運動公園の使用についても、京都府に依頼をさせていただいているところありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	59	わち農村環境センター	産業振興課	農業の後継者の問題が一番気になる。後継者育成事業費が予算化されているが、地域への定着や増加など、どのような効果が上がっているのか。	(後継者育成)制度を活用して、何人か手を挙げて京丹波町に来てくれて、定着してくれている。来てくれた人を見守って育てていくという状況も実施されていると思う。また、生産物が自分の思った値段で売れる施設の建設が必要であるということで、丹波パーキングに隣接した施設を設置することとしている。	就農支援など農業に関するさまざまな支援策により、少しずつではあるが新規就農される人や大規模の農業後継者が増えている状況であります。
和知地区	60	わち農村環境センター	和知支所	旧下和知小学校跡地が荒れており、保存会として平成13年秋から活動を始めているが、高齢化が進み、会員200名のうち8割が75歳以上となっている。活動の存続は不可能であり、何かよい方法はないかアドバイスをお願いしたい。	10年間の活動に対し感謝申し上げる。このことについては、和知支所で検討することとなっている。現状を見に行かせていただき、力になりたい。地域支援担当の職員が近々訪問させていただき、詳しい話を聞かせていただく。	11月14日に下和知小跡地保存会の松下会長をはじめとする役員の皆さんと支所で懇談。同保存会としても今の組織体制等について一定整理を確認。そのうえで、今後、各区長を交えて、例えば住民自治組織といった、新たな組織体制で活動を継承していくなど、方策について話し合いました。いずれにしても、活動の継続およびそれを担うより良い組織体制づくりに向けて、地域支援担当も一緒に考えさせていく旨、保存会の皆さんにお伝えし、ご理解いただきました。
和知地区	61	広野公民館	企画政策課	「町長と語るつどい」が6月30日から始まり2ヶ月に及んでいるが、この間に出た各会場からの意見・回答などをケーブルテレビで開示してほしい。町内を挙げて考えるのであれば、開催最終地域ではよい意見が出るのではないか。	ケーブルテレビの活用が少ない点、指示は出していますが実施できていません。ご指摘を重く受け止め、番組編成会議もあるので申し述べたいと思います。	いただいた要望や提言は、分類・整理し、担当課の回答や対応状況を確認した上で、取りまとめ結果として作成しています。ケーブルテレビにて全てを開示することはできませんが、ご意見のように、ケーブルテレビを有効に活用し、実施した地域の懇談内容を少しでもお知らせすることで、後のつどいへの参加促進が図られたり、多くの意見が得られることも考えられます。実施期間内の番組作りとも併せて検討させていただきます。
和知地区	62	広野公民館	企画政策課	ケーブルテレビ電話では、なぜ、ナンバーズディスプレイを採用しないのか？	ナンバーズディスプレイについて検討します。便利なものは便利にと思っております。	ナンバーディスプレイについては、個人情報の観点から採用しておりません。
和知地区	63	広野公民館	土木建築課	前向きに考えてもらっているならよい。広野・綾部線の道路、橋が10月にできるということだが、新しい道は通行できるのか？昭和34年に土地買収しているが、50年にも及ぶ工事ではどうにもならない。町の端の地域にも気を配ってほしい。橋が出来たら通行できるのか？	まず、工事道路として使い、工事が終わるまでは待ってもらおうということ、直接ではありませんが聞いています。正確なことは、1週間以内に区長さんを通じて報告させていただきます。	平成22年度に完成をいたしました。京都縦貫自動車道の工事用道路として使用するため、一般の方は安全を考慮して通行できませんのでご理解下さい。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	64	広野公民館	土木建築課	京都縦貫道ができるまでは、絶対通さないと聞いている。小字牧の方だが、イノシシ対策の網を取って普通の網を張っているだけなので、獣が入ってきている。町道ではないので分からないかもしれないが、この5、6年困っている。道路の完成について急ぐよう、京都府に要望してほしい。	京都縦貫道の工期は平成26年までですので、それまでには完成予定です。柵のことについてはけしからんと思います。確認して元通りにするようきちんと言わせてもらいます。	京都縦貫道については、平成26年度を供用開始目標に事業を推進しております。獣害柵については、元通りするよう、京都府に申し入れました。(下記の回答と同じ)
和知地区	65	広野公民館	土木建築課	イノシシの害で作っている米の半分が食べられてしまった。	当然のこととして、イノシシ等は入ってこないように戻すよう、申し入れます。	工事完成後は元に戻しております。
和知地区	66	広野公民館	土木建築課 総務課	府道工事によって消防の池が道のど真ん中になり、雨の日には工事車両の泥が入り悪影響が出ている。移動を早急をお願いしたい。	防火水槽の移転であれば、敷地を町に寄付してもらわなければならないが、対処します。	本年度、京都府が現在の防火水槽を撤去し新たに設置しますので、ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。
和知地区	67	広野公民館	土木建築課 総務課	(上記について、代替の)場所は決まっているので、早急をお願いしたい。	よく分かりました。	同上
和知地区	68	広野公民館	瑞穂支所	町有林マツタケ山の入札について、2年ほど前に瑞穂地域のマツタケ山の入札に参加したが、担当者が地図を広げ書面での説明だった。場所を案内してほしいと頼んだが、できないと言われた。実際に山を歩いて見てみないと踏み込んだ決断ができない。担当者に説明権限を与えてほしい。瑞穂地域の人は分かっても、和知・丹波地域の住民は分からない。	瑞穂の財産区の山のことかと思います。町の職員が財産区の事務担当をしていますが、案内することなどは難しいです。財産区に事情を聞いてみます。	財産区の山の質問ではなく、毎年実施している瑞穂支所所管の町有林(2箇所)の入札に関することです。担当職員が案内をする旨を伝えたが、質問者が不要と言われたものであります。
和知地区	69	広野公民館	瑞穂支所	「財産区」の意味が分からない。	財産区は集落ごと、または、集落をまたいで財産を管理する団体です。生産森林組合のようなものとイメージしてください。桧山財産区は決算額が大きいですが、山が売れたりゴルフ場に貸しているためです。	当日回答のとおり
和知地区	70	広野公民館	産業振興課	P10の「木のぬくもり事業」について、バイオマスの活用とは間伐材を加工して燃料に使うのか？90年代に大阪でも間伐材などを原料とした燃料を「森の子」として出していたが、お金がかかり普及しなかった。今回の事業も同じことになるのではないかな？	木のぬくもり事業については、間伐材を切って燃やすストーブを公共施設に広げたいと考えている。普及してチップなどの加工の規模になったら、成功したところの真似をしてゆくり進めていきたいと考えている。P10で示しているように薪ストーブで暖を取るということを復活させたいと思っている。	新たに木のぬくもり活用推進事業を推進していきます。本年度は、木質資源循環型利用の仕組みづくりの一環として、ウッドボイラーをグリーンランドみずほの宿泊施設に設置して間伐材の活用策を見出すこととしています。また、併せて薪ストーブ設置も実験的に取り組んでいきます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	71	広野公民館	土木建築課	立木の橋について綾部方面へのアクセスにはよいが、地元住民は国道27号線や京都縦貫道を利用するのに、舟戸橋を使う人が多い。現在の道の改良は？	国道27号線につながる舟戸橋について、計画等にあるのかどうか後ほど確認して回答します。	船戸橋の改良については現在計画がありませんのでご理解下さい。
和知地区	72	広野公民館	産業振興課	安井で鹿に対する実験をされていると聞いたが、一番被害が出ているのはサルではないか？6月からクマも出没し危害への不安材料がある。	鳥獣被害について、サルは京都府下全域で被害が報告されている。決定的な対策方法はないと担当課は言っている。捕獲装置もあるので産業振興課に相談してもらえばよい。ツキノワグマは、保護動物になっているので、昨年、実勢で出没したときも、射殺許可が出にくかったが、最後は、京都府知事の許可を得て射殺した。クマの射殺は難しいですが、人命を第一に考え、早期に許可を取り対応したい。	サル対策については、町捕獲隊の銃器によるもの以外に本年度、サル用小型捕獲オリを2基購入することとしています。効果が出れば、わなによる捕獲も実施していきたい。
和知地区	73	広野公民館	総務課 和知支所	防災無線について、火災時にサイレンしか鳴らず被害状況や場所が分からない。外で作業をしていると、情報を得るのに民家に下りて確認しなければならず二度手間になる。防災無線の放送について、元に戻してほしい。	防災無線について、ケーブルテレビが町内統一で音声告知放送をし、消防からはサイレンのみとなっていますが、和知地区では使えるものがあるので検討をする必要があると思います。防災無線は、夜の取り扱いが難しく宿直の関係もありますので、和知支所と確認、協議、相談します。	ケーブルテレビの全町開局に合わせて、緊急放送の方法、及び放送内容を統一させていただき、全町域に放送を行っているところであります。ケーブルテレビの告知放送と防災行政無線の屋外放送を一度に行うことはシステム上困難であることから、ご理解をお願いします。なお、消防団員に対しては、周知しております。
和知地区	74	広野公民館	総務課 和知支所	4月の火事では、サイレンが鳴っても場所が分からず、消防車が出動してから分かった。今までにあったものに慣れているから動けない。	ご指摘のとおりです。検討していきます。	同上
和知地区	75	広野公民館	医療政策課	困っていることを伝えてほしいと言われた。和知診療所で薬をもらうとき、外に行かなければならない。院外処方が全国的なことは理解するが、足の悪い人にとっては、不便である。仕方ないことかもしれないが、何か方策がないか？ 薬局に繋がる方法、FAXなど考えてほしい。	切実な困りごとだと思います。南丹病院にはFAXが設置されている。FAXを送り、薬が出来たことを確認できるようなしくみを考えたいと思います。	国の医薬分業の方針に基づき実施しています。和知診療所では、10月から院外処方専用のFAXを診療所の待合室に設置させていただき、FAXで保険薬局あてに処方箋を送付いただくように改善させていただいています。また、近所の保険薬局で薬が出来るまで、診療所の待合室でお待ちいただき、薬が出来れば連絡をいただくようにしております。尚、京丹波町病院でも来春から外来の全面院外処方を導入予定です。また、身体のご不自由な方に対しては、保険薬局で配達サービスも行っておられる薬局店もあります。ご相談いただきますようお願いいたします。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

質疑(後日回答)

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	76	広野公民館	土木建築課	須知高校の通学バスについて、定期代の補助をしていただき感謝している。 国道の歩道から草がいっぱい生えており、和知ダムの辺りはひどい。この夏、才原では除草中の作業員の方が事故に遭われ痛ましいことだった。国土交通省は1メートルしか刈ってくれず美観も損ねるので、草刈について申し入れをしてほしい。	予算が減り、昔のように刈ってくれませんが申し入れをしたいと思います。	道路の除草につきましては要望を行なっておりますが、その範囲の広さなどを考慮するとすべての管理は不可能と考えます。
和知地区	77	広野公民館	土木建築課	町道の草刈は、民家と民家の間が500メートル以内は除草しないと聞いたがどうか？ 広野は刈ってもらっているが、大簾の町道は刈ってもらえない。	町道の草刈については、地域の方にお世話になり刈って頂いているのが慣例となっています。その場合は謝礼をお渡ししています。民家から500メートル以上離れているところは除草作業をしていますので、場所を確認し、大簾も組み込むように話します。	町道の草刈につきましては、集落内はボランティアとしてお願いをし、集落間につきましては謝礼をお支払をいたしておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

平成23年度 町長と語るつどい 意見集約

要望【長期的】集 全 24 件

平成23年6月30日 ～ 9月9日 実施【22会場】

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望(長期的)

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	1	竹野基幹集落センター	教育委員会	竹野小学校体育館の音響設備を良くしてほしい。	音響が悪いのは、承知している。体育館は、行事等には難しく、今後、音響等設備の問題等研究させてほしい。	当日回答のとおり
丹波地区	2	竹野基幹集落センター	総務課	原子力発電所の事故をうけて、町として、学習会をするなどもっとしてほしい。	原子力発電の問題は重要で、慎重に取り組んで行きたい。国の法律も改正されていない中、京都府とも連携し進めていく。	京丹波町地域防災計画の原子力発電所防災対策暫定計画の策定をはじめ、住民避難計画の作成、住民への普及・啓発、避難訓練の実施など、原子力防災対策を的確に推進していきます。
丹波地区	3	竹野基幹集落センター	土木建築課	竹野の9号線にも力をいれて欲しい。	－	新水戸の交差点は現在測量調査実施しており地元地権者様にもご理解を得ております。また、水戸地内の交差点につきましては、現在国土交通省と協議中です。
丹波地区	4	竹野基幹集落センター	土木建築課	新水戸の道幅を広げて欲しい。新水戸の方はしてもらえない感じがする。	－	現在、新水戸交差点の改良を重点的に事業実施しています。町道新水戸大峠線については、事業計画に基づき実施させていただく予定です。(H24～)
丹波地区	5	曽根公民館	住民課	森地内の産業廃棄物について、早急に処分してほしい。	昨年も要望を受けており、回答させてもらっている。今、撤去すると他の地域からも要望が殺到することが予想される。やりたいが難しい。	当日回答のとおり
丹波地区	6	中央公民館	土木建築課	道路改修、拡幅で500万円以上使ってきたが、里道等の改修は町でお願いしたい。	－	里道につきましては、路線も多く、地元での管理をお願いします。
丹波地区	7	健康管理センター	土木建築課	京都縦貫自動車道丹波綾部道路の曽根地内に計画されているのは、パーキングエリアか、サービスエリアか、ハイウェイオアシスカ。京丹波町が通過のまちとならないために、それが魅力ある施設となるように要望する。	本町が目指しているものは、規模は小さいが府道からも入れて地元住民も利用できるハイウェイオアシス機能を持つ施設である。国土交通省が設置するトイレ休憩施設のあるパーキングエリアに隣接させて、町が食事提供や地元産品の販売ができる地域振興施設を整備するものである。	策定委員会やワーキング会議でも貴重な意見をいただいております。魅力ある施設を目指します。
丹波地区	8	健康管理センター	土木建築課	琴滝は、丹波みらい研究会の努力により関西の名所になった。喜んでいる。しかし、道が狭い。冬ほたるのときは一方通行にして工夫・努力されている。休日は車が多い。町道須知琴滝線の拡幅について計画的に実施してほしい。	市森地区内は、生活道路については少しずつ整備していくと確約し取り組んでいる。冬ほたる(琴滝)のための取組みは、まだ実施できていない。	市森区においては、先ず生活道路を重点的に道路改良を進めたいと考えております。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望(長期的)

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	9	健康管理センター	企画政策課	綾部市のまちづくりの取組みを見て、宿場町としての須知の街を活性化する手立てはないかと思っている。町の地域支援事業であるが、その取組みも広報もすばらしい。魅力あるまちになってきたと思う。さらに、住民の要望を受けて対応するだけでなく、町がどんどん企画し、住民をリードする役割であってほしい。地域支援のさらなる充実を願うとともに、地域をリードしていただきたい。	須知商店街の復活の夢を話してもらった。今ある難題を解決している状況であり、夢のある施策に向けて打ち出していこうとしているところである。地元に残り思いを持っていただいて要望を受け整備していくという形にしたい。	ご指摘のとおり、平成22年度から地域支援事業を展開中であり、「熱く、やさしく、誠実に」をモットーに、今後も地域コンサルティングメニューとして取り組んでいきたいと考えます。
丹波地区	10	下山集会所	総務課 土木建築課	災害時の孤立化を防ぐ防災面を含めた道路改良計画を考えてほしい。	防災面も視野に入れ、丹波三和線改良要望に頑張る。	当日回答のとおり
丹波地区	11	下山集会所	産業振興課	有害鳥獣対策に力を入れてほしい。	効果のある方法を研究中で、今後も力を入れていく。	当日回答のとおり。
丹波地区	12	上豊田住民センター	教育委員会	野球専用グラウンドや町全体の文化センターなどの建設をお願いする。	私が思うより大きい施設であると思います。自然公園近くにサッカースタジアムの建設要望はしています。	野球専用グラウンドについては、現在の施設利用状況を踏まえたうえで検討してまいります。文化センター等については、必要と考えてはおりますが、別事業の予算とも調整し今後慎重に考えてまいります。
丹波地区	13	清涼館	産業振興課	23班の角に鳥淵牧場の排水が流れ、沼のようになっており、大雨の時にはそこから道に水があふれる状態が10年以上続いている。産業振興課には、度々お願いし、指導しますという返答を貰うが、なかなか改善されない。臭い汚水も溢れ困っている。本腰を入れ、解決できるように努力してほしい。	このことについては、話が出るだろうという報告を受けていた。マスをつくるかどうかなどを検討しているようだが、実際の話聞いて、自分が聞いていたことと違うなというように思った。主には、南丹保健所と地元自治体として対処しなければならないのかという認識でいる。町長として、先頭に立ちたいという思いである。	畜産農家からの排水は排水基準内となっておりますが、適正な放流について、府保健所や府家畜保健所と連携して監視、指導が行えるよう引き続き調整や調査を行うこととさせていきたい。また、排水路のつまりについては、ゴミ等が土管に入らないように網目状の鉄筋が設置されているため、こちらに落ち葉や竹の葉、木くず等が降雨時に流量が増えることで鉄筋に引っかかり、正常な排水を妨げる原因の一つにもなっているようであります。道路への越流については複合的な要因が考えられるので、関係部局と連携を図るなかで対策を講じたい。
丹波地区	14	清涼館	土木建築課	(上記関連)バイパス工事をしている間にその工事もしようという話になっていたが、全く手付かずである。早急にやってもらわないと大変困るのでよろしくお願いしたい。	わかりました。	上記回答のとおりご理解いただきたい。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望(長期的)

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	15	清涼館	産業振興課	(上記牧場関連)節電対策で、家庭で扇風機を使っているが、窓からくさい臭いが入り困っている。食事中や夜寝ていてもくさい。みんな思っている、近くなので言いにくい。解決の方法があればいい方向にむけてほしい。	これは、長い歴史なので私が就任したからといって、楽観的な答えを発することはできない。担当の説明は、施設整備し対応しているような内容だったので、少しずつ改善されているのかと思っていた。今年になり区長さんが替われ、今こうして聞いていると以前と一緒なのかと思う。産業振興課には、設備なのか、きちんと説明するように促した。事業者に補助金をつけて援助することで解決することができるのならという話はしたが、その後、そのままになっている。再度、詳しく調べて、南丹保健所にも協力してもらわないと解決には至らないと思う。補助制度はあるが、事業者がさせてほしいという申し出がないと、全面的にその事業者だけに税金を使うわけにもいかず、難しい問題がある。皆さんの気持ちになって取り組みたいということを約束したい。	畜舎の臭いを低減させる先進的な取り組みをされている事例等を研究しながら、畜産農家と一緒に頑張って取り組んでいきたい。
瑞穂地区	16	山村開発センター	土木建築課	合併して思ったことは、質美から富田へ抜ける七山峠を整備してもらえないか。竹野の高岡から安井地区(塩田谷)へ通じる道を整備してもらえないか。鎌倉から安井小野へは立派な道がついている。西河内から上林へ抜ける道路も計画されていると聞き喜んでいる。	せめて舗装でもという声も聞くが、その要望にも応えられていない状況である。安井・小野については、小野地内の町道整備をしなければならない。笹尾から篠山へ抜ける府道整備に懸命に取り組んでいる。今しばらく検討の時間をいただきたい。和知も期成同盟もあるので町と一体となり取り組んでいる。仏主までの府道整備の要望が地元では強いので、地元からの要望で動いているので、優先順をつけて実施していきたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	17	梅田振興センター	企画政策課	高齢者にやさしいまちづくりが町政の一つの柱。高齢者がよく利用される京丹波町病院の前のJRバス停(表示は、瑞穂病院前)に屋根等のある簡単な停留所を設置してほしい。	どういう方法があるか研究したい。できるだけ、雨風がしのげるようにしたい。	今後検討いたします。
瑞穂地区	18	梅田振興センター	総務課	避難場所に指定されている公民館の耐震性、水害に対する対応をしてほしい。	原発事故を受けて、町地域防災計画に原子力発電所防災計画編を策定する予定にしている。避難場所の整備については、研究の時間をいただきたい。具体的な要望があれば、積極的に対応していく。	当日回答のとおり
瑞穂地区	19	梅田振興センター	土木建築課	鎌谷すじの道幅が狭い。	優先順位がある。公平に対応していきたい。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望(長期的)

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
瑞穂地区	20	質美振興センター	教育委員会	8/14付け朝日新聞に載っていた縦貫道工事による岩崎 長氏の家の取り壊しに関連して、この家の岩崎革也氏は歴史研究家の研究対象となる人物で、大学が資料をマイクロフィルムに納めてはいるらしいが、当時の資料や書簡が多く残されているとのこと。新聞報道のあと、問合せもあったと聞くが、貴重な資料を資料館等にまとめて残す考えはないか？	岩崎家は旧家で、革也氏は須知銀行の頭取、初代須知町長であった人。今、交渉をしているが、あまり順調ではない。貴重な資料があるとのことであるが、それが確認できていない。確認できたうえでの対応としたい。	旧家や古寺社等には貴重な文書資料が現存している場合が多いと考えますが、現状として確認できているものは多くありません。岩崎革也氏の邸宅や親交のあった方との書簡類についても本町での本格的調査は行えていませんが、未調査ながらも、本件については貴重な資料であると思われます。しかしながら、個人の所有物件のため、所有者の意向を尊重すべきと考えております。今後、お申し出があれば関係機関と連絡を取って最善の保存方法について検討したいと考えています。
瑞穂地区	21	鎌谷奥公民館	土木建築課	府道遠方瑞穂線(鎌谷奥地区)の改良をしてほしい。	－	今後地元の意向をお聞きしながら、京都府南丹土木事務所と調整していきます。
和知地区	22	長瀬公民館	和知支所 保健福祉課	中部・北部地域に高齢者の憩いの場を作ってもらえないか。	憩いの場所があったほうがよいと思う。具体的には6区の皆さんと協議して決めていきたい。	京丹波町老人クラブ連合会支部及び事務局(社会福祉協議会)と検討します。
和知地区	23	和知ふれあいセンター	総務課	町内の学校施設については、100%耐震補強が完了したということだが、他の公共施設、役場、支所も含めて耐震調査、点検をされ町民の安心安全を確保する施策に取り組んでいただきたい。	学校施設に引き続き、人が多く集まる公共施設の耐震診断をし、耐震対策を立てたらどうかという意見であるが、是非そうありたいと思っている。私自身、すぐに役場を立て替えるということは無理な状況であると判断している。単に役場を立て替えるということではなく、まちづくりという視点からも考えていきたい。	当日回答のとおり
和知地区	24	わち農村環境改善センター	企画政策課	園部綾部間の複線化の件であるが、園部京都間複線化以前に園部町において、山陰線複線化促進協議会があった。行政主導で園部綾部間複線化促進協議会の立ち上げを考えててもらえないか。	活動は不活発であるが、山陰線複線化、高速道路促進、新幹線促進の三線の促進協議会がある。もう少し積極的に活動を展開していかなければならない。複線化の北進については、綾部、舞鶴、福知山の首長を含めて組織の拡大を図って強力な促進を行っていかなければならない。これから呼びかけを行っていく。	当日回答のとおり

平成23年度 町長と語るつどい 意見集約

要望【短期的】集 全 49 件

平成23年6月30日 ～ 9月9日 実施【22会場】

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	1	竹野基幹集落センター	土木建築課	町道舗装のお願い。以前、町道に穴があき修繕をお願いしたところ、次の日には、職員が即、対応してもらった。早い対応はうれしいが、応急処置なので、2～3ヶ月後には、又、修繕が必要。	対応させます。もうしばらく、お待ちください。	町道の舗装につきましては、要望等を受けまして順次修繕を行っておりますのでご理解下さい。
丹波地区	2	竹野基幹集落センター	産業振興課	野菜を作っているが毎年アライグマの被害にあう。アライグマ捕獲する箱を作って区へ貸し出して欲しい。	－	アライグマの被害防止のため、町民の皆さんの要請により捕獲従事者として指定した町職員がオリを設置し捕獲を行っているので、連絡をしていただければ対応します。
丹波地区	3	曽根公民館	企画政策課	冊子の5ページに「新しい公共交通のあり方検討中。」とあるが、南谷地域へ小型バスを運行してもらうことはできないか。	交通懇話会のほうに安井区長様から要望が出ているということを伝えておきます。	今後アンケート調査等を実施して、町民の皆さんの意見やニーズをしっかりと把握して、よりよい新しい交通網を構築していきます。
丹波地区	4	曽根公民館	産業振興課	旧浅田農産跡地の活用について、将来地域が活性化するようなすばらしい施設等ができることを要望する。（回答は特に必要ない。）	地域の活性化に繋がるような跡地利用となることを願っている。	跡地活用の検討状況は、本年度、地元の西部環境保全検討委員会、京都学園大学、町の3者で協定を結んで検討しているところであります。
丹波地区	5	曽根公民館	企画政策課	ホームページの件で、ケーブルテレビの文字放送では、観光協会の設立については、町のホームページをご覧ください。となっているが、トップページには一切掲載されていない。放送する以上は、トップに掲載していただきたい。	ホームページの新着情報の欄に掲載しており、順次新着情報が入れば画面の後ろに回され見えなくなっているが、トップに出るように調整する。	ホームページのお知らせ欄に掲載するよう設定していますが、新しい情報が入れば、トップには掲載されなくなる場合があります。お知らせ欄の下部にある「一覧」を見ていただければ、過去のお知らせがすべて見ることができます。今後は、文字放送等で、ホームページに掲載している旨を伝えた場合は、トップページに表示されるように配慮したいと思います。
丹波地区	6	曽根公民館	企画政策課 総務課	一斉放送のご不幸のお知らせについて、もう少し哀悼の意を表すような放送にならないか。	土日のお悔やみの放送については、定時放送が間に合わないので、宿直の対応となってくる。他からも配慮が欠けているというご意見をいただいております。総務課において研修も実施しているが、総務課に再度伝えておきます。	ご意見をいただく中で、担当者の研修を行っているところでございます。今後も引き続き研修を行ってまいりたいと思います。
丹波地区	7	曽根公民館	土木建築課	PAについて町長の話のとおり、土地所有者との説明・意思疎通を早急に実施してほしい。	－	全ての地権者に説明を行ないました。
丹波地区	8	中央公民館	土木建築課	琴滝までの道路の改修を願いたい。	琴滝へのアクセス道については、琴滝が「冬ほたる」で有名になった。担当課で優先順位があるので順番に改修していきたい。観光地として、改修を早めることはあるかもしれない。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	9	中央公民館	土木建築課 教育委員会	通学路の安全確保をお願いしたい。ため池の危険性について、看板を設置したが池に落ちないように対策をお願いしたい。	通学路のことについての心配については、関係課が寄り、検討・協議していきたい。水の事故についての対策について、どういう方法があるか検討していきたい。 通学路につきましては、地域の皆様方、ご父兄にご協力をいただいていることに感謝します。通学路は常に危険を含んでおり、学校でもしっかり指導進めていきます。水の事故に対しても、夏休みのも入りますので学校より指導していきたいと思います。	当日回答のとおり
丹波地区	10	中央公民館	企画政策課	CATVでのご不幸のお知らせを2日前からとお通夜の日も放送してほしい。	ご不幸のお知らせについて、現時点では、前の日にお知らせすることはできておりません。瑞穂和知の放送は朝夕のみで、丹波では朝・昼・夕と3回放送もしていました。今後検討して調整を進めてできるだけお応えできるようにしたいと思います。	当日回答のとおり
丹波地区	11	中央公民館	産業振興課	平成22年度「町長と語るつどい」で蒲生区の三つ池の改修について、町長は「府に要望していきますが、地元負担が発生しますので、役場の方から説明に来させます。」と言われたが、1年経過するが地元への説明に来られたことはない。	行けていないのであれば、すぐに行かせる。	この件については、平成21年度ごろから蒲生区の区長さん、水利組合の役員さん、地元議員さんにそれぞれ説明し、地元のとりまとめ（改修工事をするかどうかの意思決定）を待っている状況であります。今回の町長と語るつどいのご意見を聞き、7/8担当者が蒲生区長さんにこの旨を伝えました。
丹波地区	12	中央公民館	企画政策課	小学生も中学生も、近い者も遠い者も自由にバス停で乗り降り出来ることを要望する。	ー	全ての道路でフリー乗降を行なうことは、確かに利用者にとって利便性の向上が図られますが、フリー乗降の許可申請をしても警察の許可はできません。許可のあるところで現在もフリー乗降を設けています。
丹波地区	13	上野住民センター	産業振興課	実勢の「クラベシ林道」は、舗装が池までしか出来ていない、あと200mくらいが未舗装と思われる。数回修繕もしたが荒れて困る。年次計画的に整備されたい。町道実勢南線（以前の町道86号線）のゴルフ場へいく道の終点部分から府道へ上る道約100mを舗装してほしい。	地域担当を現場に行かせるので、具体的に教えていただくとともに、要望書を提出してほしい。	現場の状況は随時確認しています。クラベシ林道区間のうちで急カーブ及び急勾配の箇所について部分的な舗装については、今後の検討課題とさせていただきます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	14	上野住民センター	土木建築課	上野住民センター前の道は、運動場へ行く道の整備とあわせて、拡張されたが、側溝が山側についたため、大雨の時には町道が冠水し、横の田畑に水が流れ込む。ずいぶん以前からであるが、早く修繕対応していただけないか？	担当者を派遣する。出来ていないのは申し訳ない。（地元関係者から）道路の冠水の件については、平成22年度要望書にあげたところ、現場を確認に来てもらったし、回答ももらっている。多くの要望があるなか、優先順位を設けて対応していくとの回答であった。本人にも伝えたが、長年の苦労はご本人でないと分からない面もあるので、出来るだけ早期に対応願いたい。	優先順位をつけて対応いたします。
丹波地区	15	健康管理センター	総務課	過日、消防団の夏季訓練が実施されたが、夏季は夏服で訓練させてやってほしい。	現在の消防訓練服はオールシーズン用であるようだ。夏用を入れるように指示する。	実際活動いただく消防団と調整しながら、安全かつ迅速に活動できる被服の導入に向けて検討してまいります。
丹波地区	16	健康管理センター	企画政策課	ケーブルテレビ電話が重宝している。呼び名であるが、「ケーブルテレビ電話」「CATV電話」「3を付ける電話」など様々である。有効利用できるように、わかりやすい名前にしてほしい。	直ちにネーミングを行う。そして、利用について積極的に広報したい。	CATV有線電話としております。毎年発行されております「テレパル50」（株サイネックス発行）の裏面見開きにご利用法などを掲載しております。
丹波地区	17	健康管理センター	企画政策課	ケーブルテレビ告知放送のご不幸のお知らせは、前夜に告別式のみのお知らせとなっている。通夜と告別式の両方を知らせるようにしてほしい。区長会の場でもお願いしたが、まだ実現していない。	時間がかかるかもしれないが、要望に応えたい。これまでは旧町ごとに放送の仕方が異なっていた。通夜のお知らせも流してほしいという要望があるが、一方では、お悔やみの放送ばかりという声もある。利便性の向上を基本に総合的に検討している。	当日回答のとおり
丹波地区	18	下山集会所	土木建築課	丹波三和線から小学校下への道路案内の標識設置について相談にのってほしい。	地元と十分協議して決めましょう。	当日回答のとおり
丹波地区	19	下山集会所	企画政策課	JRの臨時運休の情報をCATVで放送してほしい。	JRに申し入れ、CATVの対応もできると思う。	当日回答のとおり 放送時間など方法を検討します。
丹波地区	20	下山集会所	保健福祉課	高齢者宅への訪問等に保健士の協力をお願いしたい。	少々、予算が掛かっても対応する。	現在も実施しているところであるが、よりきめ細かな体制を構築していきたい。
丹波地区	21	下山集会所	教育委員会	蔵地区の文化財のトイレの水洗化を早急に実施してほしい。	要望は伺っているが、補助金や対象事業を調査中である。	これまでも地元関係者の皆様からご要望いただいておりますが、かねてより適用できる補助制度等を模索しているものの、ご要望にお応えできていない現状です。今後も関係各課と連携しながら研究してまいりたいと考えております。
丹波地区	22	下山集会所	土木建築課	黒瀬橋から大原・ダム地域への町道の改良を早急に実施されたい。	順番待ちだと思うが、回答できるようにしたい。	計画はありません。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	23	下山集会所	企画政策課	視覚障害者ガイドヘルパーより、CATVの放送が文字放送のみの時があるが出来るだけ音声放送も両方とも放送してほしい。	少々、高くついてもしたい。	当日回答のとおり
丹波地区	24	下山集会所	企画政策課	ご不幸のお知らせをお昼も放送してほしい。	要望も多いので調整中でしばらくお待ちください。	当日回答のとおり
丹波地区	25	下山集会所	土木建築課	畑川ダムの周辺整備は、完成時に周辺整備も完成していることが理想。そのためには今年度から地元ダム対と協議しながら取り組んで欲しい。	－	地元ダム対策委員会の役員と町で連絡会を結成しておりその中で現在基本計画を策定中です。
丹波地区	26	上豊田住民センター	土木建築課	院内中央線を改良してもらったが、集荷所の敷地より路面が高くなり、少しの雨でも建物内に水が入るようになった。土のうを積んでも追いつかないので困っている。たぶん年を越えると思うので、できるだけ早い時期に対応をお願いする。	本年度工事と併せて対応できればよいが、また担当課から返事をいたします。了解しました。	本年度工事と併せて対応を考えております。
丹波地区	27	富田公民館	企画政策課	明治国際医療大学病院という良い病院があるが、車の運転ができない高齢者も受診できるよう巡回バスをお願いしたい。	明治国際医療大学病院までの町営バス巡回は、今のところ考えていません。	当日回答のとおり
丹波地区	28	富田公民館	教育委員会 企画政策課	合併の年に大阪から転入してきたが、(広報などの)ニュースが配られ京丹波町の様子を知る情報源となっている。広報誌やお知らせ版に、図書館情報が載っておらず、図書館の休業日、年末年始や課題図書の数など図書館に行ってみないと分からないことがある。お知らせ版等に図書館に関するスペースを割いてほしい。	必要な情報だと思います。教育委員会から月1回「tomorrow」を発行し、全戸配布しております。年末年始の休館等についても情報提供していきたいと思います。また、パソコンをお持ちの場合は、教育委員会のホームページも立ち上げておりますので、確認していただき、図書館情報も瞬時に提供していきたいと思います。	当日回答のとおり
丹波地区	29	富田公民館	土木建築課	P11の河川の維持管理について、改修され水害も免れて感謝している。須知川との合流地点に前の地域の井堰がある。井堰が深くなり、先日的大水で堤防の破損が見られる。井堰が飛ぶのではと危惧している。継続事業として実施してほしい。	京都府の事業ですが、町も調べます。須知側の井堰の下流について、現在仮設状態です。10月以降、H鋼の頭を飛ばしブロックを積んで改修すると京都府から聞いています。	京都府に確認したところ該当の箇所河川改修の計画はありません。農業用施設の改修補助事業として京丹波町で予算化しております農林漁業事業補助金が有利と考えられますのでご検討いただきますようお願いいたします。(事業費が10万円以上200万円未満の事業に対する補助率10分の5以内の補助事業です。)
丹波地区	30	富田公民館	医療政策課	広域消防組合が救急活動されているが、京丹波病院に1台救急車がほしい。「車で来てほしい」と言われるが、京丹波町病院で救急搬送してほしい。	専門的な資機材を搭載した高規格の救急車はありませんが、搬送用の救急車はあります。京丹波町病院から二次後送病院には、救急車で搬送しています。	当日回答のとおり

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
丹波地区	31	富田公民館	医療政策課	(上記について)熱中症などの際は、搬送してほしい。また、緊急時は夜中が多いので願いたい。	一刻を争うことには、対応できるようにします。車で30分以内の所に総合病院があるので、つながりを大切に連携充実を図りたいと思います。緊急時には消防署もあり、搬送用の救急車はあります。	当日回答のとおり
丹波地区	32	富田公民館	全課	経費節減について、カラー刷りのものが多いがカラーは高くつくので、簡単で分かりやすくまとめた誰でも読めるものにしてもらってはどうか？ケーブルテレビもあるので。	京都新聞には昨日のことがすぐニュースになり、行政のことを記事にしてお知らせできるようこちらから頼んでいます。(町からの配布物については)内容についても検討します。	広報京丹波及び広報京丹波お知らせ版を活用し、配布物の削減とケーブルテレビの活用に努めてまいります。
丹波地区	33	富田公民館	産業振興課	息子がハウスをしているが、機械の助成金をお願いしたい。なかなかおらない。	－	この件については、数日後、本人宅へ出向いて面談のうえ個人向け制度の採択に向け支援していくことを伝えました。
瑞穂地区	34	山村開発センター	教育委員会 土木建築課	瑞穂小学校の通学路が非常に狭い。歩道も狭い。冬場の除雪についても、援助をお願いしたい。	教師が、バス停まで迎えに行っている。雪かきなど、地元の方々にお世話になって、安全が保たれている。関係課とも相談して委員会からも要望していきたい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	35	山村開発センター	土木建築課 瑞穂支所	7月20日の新聞報道で、京都府は、生活道路での速度を30キロに抑えるということが掲載されていた。井尻八田線についてであるが、生活道路がバイパスのようになると困るので、30キロ制限にして欲しい。沿道の草刈に対して補助がいただきたい。	公安委員会に申請して、認めてもらえるよう申請したい。草刈除草については、瑞穂支所に相談してみてください。出来るだけ対応したい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	36	梅田振興センター	瑞穂支所 企画政策課	廃校舎の行事等に関して梅田地域振興会に対する助成をしてほしい。	助成をしている。今年の4月から関係者で話し合いをしている。地元の活性化につながるよう検討いただいている。経費の負担もすりあわせをしている。	旧明俊小学校跡地利用については、活用方法や支援について、地元関係者と協議中であります。
瑞穂地区	37	梅田振興センター	教育委員会	国民文化祭にあわせ、各集落の文化財の保全、補修をしたい。件数で割るのではなく、必要なら補正予算でも対応してほしい。観光の拠点にもなる。	大事であることは認識している。修理、維持管理の件数は非常に多い。広く浅くで補助金は少なくなっている。専門性を要し、高額なものもある。国民文化祭は、府、町あげて成功に導いていきたい。	国民文化祭を1つの契機として文化全般の興隆が図れることを強く望んでおりますが、幅広い文化の中で文化遺産、特に文化財は何度も修繕や改善を加えられてきている事例が多く、後世に伝えるためそれぞれの時代で住民の方が中心となって保存や継承に努められてきました。現在、風雪や経過年数による老朽化が著しいものも多くあり、全てについてご要望どおりの修繕、改善の援助することは困難ですが、一定の基準を設けた補助金制度もあり、内容や緊急性、必要性等を考慮して対応して参りたいと考えます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
瑞穂地区	38	妙楽寺公民館	産業振興課	サルの被害が多い。数を減らすために京丹波町でサルの駆除班を編成して猟銃による駆除に取り組んでほしい。	有害鳥獣の捕獲数が多く、同時に被害も大きくなってきている。町としても懸命に対策を取っているが、それが追いつかない現状で頭を悩ませている。サル対策としては、まずは追い払いをすることが第一であるといわれている。そこで、区などの要望に応じて京都府と一緒にサルの追い払い研修会を開催しているので、それをもとに地域ぐるみで追い払い活動を行ってほしい。駆除班の編成については、猟友会に委託している。 まずは、自衛をしてもらう以外にない。サルを銃猟で減らすことは非常に難しい。現状、町は駆除班として猟友会に頼らざるを得ない。町議会においても町が駆除隊を編成するように意見ができるが、駆除班の構成対象を誰にするのか頭に浮かばないので、手がつけられていない状況であることを理解してほしい。農家組合と相談して、三ノ宮地域で一網打尽にサルを捕獲するモデルを作るように調整したい。	当日回答のとおり
瑞穂地区	39	三ノ宮基幹集落センター	総務課	旧瑞穂病院解体後の跡地利用は。	いつでも利用できる状態に先ずしたい。跡地利用方針が決まったら議会や住民の方に報告する。今しばらくお待ちいただきたい。	公共事業等に有効活用を検討したいと考えます。
瑞穂地区	40	三ノ宮基幹集落センター	土木建築課	質志、戸津川は積雪が多い。各戸でやってきたが困難となり、除雪機を買って役員がしている。小型の除雪機では力不足で大型が欲しいが、補助金は25万円が限度と聞いている。どうにかならないか。	全町の中で、ある意味公平性を考え一律限度額25万円だということであるが、大事な問題であり、柔軟な対応を考える。	当日回答のとおり
瑞穂地区	41	三ノ宮基幹集落センター	教育委員会	小学校の統合により、「学校だより」は回覧となった。三ノ宮小学校では各戸配布されていた。隣の家が遠い地域、高齢もあって大変である。	配布の範囲や戸数が広がったことが原因だと思う。いただいた意見を学校とも相談する。	当日回答のとおり
瑞穂地区	42	三ノ宮基幹集落センター	土木建築課	国道173号等の草刈は、白線（外側線）から1m位と聞いた。道は同じ条件のところばかりではなく、国道数でも広い所や見通しの悪い所もある。もう少し広く刈ってもらえるように国に言ってもらえないか。	国の方も予算の2割カットとか厳しい時代である。なかなか言ったようにしてもらえない。国の公共事業費は相当な減額となっている。（今時点で）危ないなら、自分たちでもがんばっていただきたい。国へは申し入れをする。	京都府によりますと、車両の通行に支障が認められる範囲で草刈を行なうとのことです。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
瑞穂地区	43	三ノ宮基幹集落センター	土木建築課	除雪は重機械により一定幅でされるが、雪の壁が出来て固まれば、家からの出入りが出来ない。バス乗り場等は委託業者さんももう少し考えて欲しい。	ちょっとした気遣いをしてもらえるように、国道事務所に頼んでいく。他の区でもその話を聞く。また、除雪に来てくれる時間が遅くなる地区もあり、順番を変えるとか細かい配慮を頼んでいる。	当日回答のとおり
瑞穂地区	44	質美振興センター	土木建築課	丹波パーキングエリアのことが気になっている。瑞穂の道の駅も売り上げが減っている。丹波パーキングの実証実験は？ 客が丹波パーキングに行くと、皿引野の道の駅がダメになってしまう。セクトではなく、町全体で考えることが必要であるが、全面的な発展になるよう考えてほしい。	ご指摘のとおり、そうなるように考えていきたい。瑞穂の生産者は、皿引野だけでなく、新しい施設も利用してほしい。R9、R173、R27とそれぞれ旧町ごとに道の駅がありはやっている。道があることで発達してきた。丹波パーキングは、京都縦貫自動車道からの玄関口だと考える。まずは京丹波町に入ってもらって、町内各地へ行ってもらいたい。どこに設置するのか？と言っていたら、京丹波町は通り過ぎる町になってしまう。丹波パーキングにも、どんどん出荷していただきたい。	既存の道の駅、今回計画中の施設は、それぞれの国道の利用者をターゲットにして差別化を図り4つの施設が連携していく必要があります。
瑞穂地区	45	質美振興センター	産業振興課	特産品を生産して、高齢でも社会に貢献したいと頑張っている。しかし、有害鳥獣が悩みであり、シカにやられると生産が意欲がなくなる。新型捕獲装置の実験の話を聞いて嬉しいが、早く実験、効果をあげて、普及してほしい。ブランドを守るために、有害鳥獣(シカ)対策をお願いしたい。	小豆の瑞穂大納言は京都府からも認定されているブランド品。有害鳥獣対策は、立法措置も含めての対策が必要である。国は、被害金額のことを言うが、それだけではなく、生産意欲の減退が問題で、国会への陳情、知事へ申し入れなどを行っている。頭数を減らすことが重要ではあるが、根本的、具体的な解決策に至らず申し訳ない。実証実験に早く取り組みたい。	塩田谷区と安井区の要望を受けて、実験的に実施します。本年度は資材を購入、来年度から捕獲の取組みを始めます。その結果、効果が出れば希望される集落に広めて行きたい。
瑞穂地区	46	鎌谷奥公民館	総務課	それぞれの組織、町政の中で原発のことについて勉強させて欲しい。	ー	CATV・広報を通じて、原子力防災に係る住民への普及・啓発を行っていきます。
和知地区	47	長瀬公民館	企画政策課 和知支所	和知駅の「山ゆり」の件であるが、オーナーが突然撤退を表明された。関係者により年内によい方向性を検討されると聞いているが、JR乗車券の販売のこともあり、町で存続してもらえないか。状況をお聞かせ願いたい。	心配をかけている。年内は町で守っていく。来年1月以降は、お茶や水等のセルフサービス等は提供していきたい。きちんとした管理をし、民間の有志を待つことになる。	和知駅の「喫茶コーナー」は、地域住民の交流の場、観光者、来町者の休息場所として、存続をしていきたいと考えていますが、全てを町資金で運営するのではなく、自由度を高く地域の皆さんで工夫をされた施設となればと考えています。皆さんのご意見をお聞かせください。
和知地区	48	和知ふれあいセンター	住民課	小畑区の環境保全に関することで、草が生えはったらかきにされている土地がある。農地に隣接していない屋敷跡、事業所跡地の管理に我々では、限界がある。除草にも危険を伴う。町のほうで手立てを考えて欲しい。	地元では、なかなか権利関係を調査できないので、行政ができる範囲のことをお手伝いしていきたい。所有者を調査し、一緒になって解決に取り組んでいきたい。	空き地・空き家などの苦情については、町で当該土地建物の所有者を調査し、条例に基づき町から文書や電話で指導を行っています。私有財産の管理について、町がどこまで関与できるのか難しい面もありますが、地元と相談をしながら解決に向けて取り組んでいきます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

要望（短期的）

地区	No.	会 場	担当課	要 望	当 日 回 答	担当課回答
和知地区	49	広野公民館	企画政策課	他の地域の「語るつどい」で出た意見、関連事項について開示してもらえないか？ 2ヶ月間、住民の意見や要望を無視していることにはならないか？	今年度の「語るつどいの」で出たご意見等については、今のところはまとめられておらず、資料の準備もありません。真摯に受け止め、来年度はご提言を生かす「語るつどい」にしていきます。	いただいた要望や提言は、分類・整理し、担当課の回答や対応状況を確認した上で、取りまとめ結果として作成しています。そのため、取りまとめに時間がかかってしまいましたが、今後の施策・事業に反映させていきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

平成23年度 町長と語るつどい 意見集約

意見提言集 全 42 件

平成23年6月30日 ～ 9月9日 実施 【22会場】

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

意見提言

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	1	竹野基幹集落センター	企画政策課	ケーブルテレビのあり方として、教育的視点を入れてはどうか	原則、京丹波町にお住まいの方を取材し、全町民にお知らせするのがよいと考えている。	当日回答のとおり
丹波地区	2	竹野基幹集落センター	産業振興課	観光協会設立について・・文化遺産少ない町として、マーケスに町の案内所を設置してはどうか。また、農業中心の「うるおい館」をよい方向でしてほしい。	マーケスの中に案内所があればと考えている。	丹波マーケス内に町の観光案内所の機能を備えた町観光協会の事務室が設置されています。さらに充実していきたい。
丹波地区	3	竹野基幹集落センター	企画政策課	ケーブルテレビについては、番組づくりの委員会を立ち上げては？	色々とご提言をいただいた件、早急に実施したい。	運営委員会などでの意見などをいただきながら、検討していきたいと考えます。
丹波地区	4	竹野基幹集落センター	医療政策課	京丹波町病院での健康教育をホームページで、施設を見てもらってはどうか	色々とご提言をいただいた件、早急に実施したい。	23年度に町立医療機関のホームページを現在作成中です。ご提案いただいた内容等についても、生かしていけるように考えていきたいと思います。
丹波地区	5	竹野基幹集落センター	企画政策課	町内の施設をホームページでながし、ピーアールしては。合併後、「心の合併」もできるように	色々とご提言をいただいた件、早急に実施したい。	ホームページの「施設案内」や「観光・見どころ」で町内の施設の案内をしています。より充実した内容となるよう検討します。
丹波地区	6	竹野基幹集落センター	総務課	先行取得用地について、積極的に活用する方法を考えてはどうか。町づくりを支えるのは、町民。発展をさせるのは、財政。大事なことから英断を。	-	公共事業などへの活用や貸付等も含め有効活用に向けた方策を今後検討していきます。
丹波地区	7	竹野基幹集落センター	企画政策課	町内に在住しているが、日中も仕事で出ているため、知らないことが多い。あらゆるところで、町のコマーシャルをして京丹波町をピーアールをしてはどうか。	-	広報誌、ケーブルテレビ、ホームページ、告知放送等あらゆる広報媒体を通じて、京丹波町の魅力をPRしていきたいと考えています。
丹波地区	8	竹野基幹集落センター	産業振興課	森林大学校の開校について。地域地場産業である林業で、若い人が来町し、地元に定住してほしいし、京丹波町が、学生であふれる町になってほしい。	西日本唯一の林業大学校。ホストファミリーが学生を預かる。林業大学校を卒業しても他職種になってもよい。京丹波町の学生を増やし元気な町へ(南丹市の建築学校等の就職率が100%で、入学希望の学生が当初より増加している。)	当日回答のとおり
丹波地区	9	曽根公民館	全課	新たな取り組みもあってうれしく思うが、年度ごとに事業の検証をしっかりとってほしい。	-	京丹波町総合計画実施計画において、毎年度検証を行っております。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

意見提言

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	10	中央公民館	議会事務局	議員報酬、期末手当合計が1人平均月28万について、兼業している議員が多いこともあり削減できるのでは。	-	全国の各議会においても議員定数と併せよく議論される課題であります。その額についての賛否は様々であります。特に町村議員は、年金受給者即ち高齢者が多く若年層議員が少ない。その理由のひとつとして議員報酬が取り沙汰されています。また、兼業者が多いのもその裏返しと考えます。今後本町議会としても議会活性化問題のひとつとして議論していく必要があると考えます。
丹波地区	11	上野住民センター	教育委員会	(京)丹波町に小さくてもいいので、音響効果の良いホールを建てて欲しい。	-	文化ホール等は必要と考えてはおりますが、別事業の予算とも調整し今後慎重に考えてまいります。なお、音響設備につきましては和知ふれあいセンターの機器を改修しましたので有効にご利用ください。
丹波地区	12	上野住民センター	産業振興課 保健福祉課	民家空家対策、老人高齢化などよりよい町づくりをして欲しい。	-	空き家対策の一環として、農業の担い手確保、耕種放棄地の解消などを目的に空き家情報バンク制度を設けています。この制度の活用促進により地域の担い手を増やしていきたい。
丹波地区	13	上野住民センター	水道課	排水に関して、洗い物するときには前処理をする、排水ますの掃除を必ずするなどの啓発をしているか。処理代が安くつき、値上げしなくてもすむものではないか。	-	下水道の使用についてのお願いを広報紙にて啓発させていただいておりますが、今後も尚一層の啓発に努めて参ります。 また、現在、処理費の経費削減についても推し進めているところであり、今後もあらゆる面から対策を講じていきますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。
丹波地区	14	上野住民センター	土木建築課	住宅改修補助は、個人補助であるが、町内業者に活力を呼び込めるものと思われ新しい視点の施策として期待する。	-	今年度から3年間、この補助金制度を実施します。住宅改修の推進と町内商工業の発展に期待するものです。
丹波地区	15	上野住民センター	教育委員会	中学校給食について、地産地消の観点からも期待する。	-	安全・安心な食材を提供することはもちろんのこと、地元産食材の活用や郷土食の提供など、さらに努めてまいります。
丹波地区	16	健康管理センター	企画政策課	テレビ大阪のデジタル再送信が実現したことのお礼を申し上げる。	関係する民放各社にお願いし実現できた。今後も要望に応えられるよう頑張る。	当日回答のとおり
丹波地区	17	健康管理センター	保健福祉課	住民健診に日曜受診が設定され、受診することができた。良いことなので、もっとPRをすればよい。	本町は、住民健診の無料化を実施している。さらに項目の充実を図っている。受診率を引き上げるために、もっとPRが必要と思っている。	当日回答のとおり
丹波地区	18	健康管理センター	企画政策課	放送設備が聞き取りにくいので、改善を検討して欲しい。	-	今後も視聴しやすい環境に努めます。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

意見提言

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	19	下山集会所	土木建築課	畑川ダム対策協議会より、周辺整備も含め事業推進に対するお礼。	今後も、京都府を巻き込んだ事業推進、地元要望の実現に努める。	当日回答のとおり
丹波地区	20	下山集会所	企画政策課	通学時除き、毎日空席バスが運行されているのはどうかと思う。	-	利用実態調査等を今後実施し、町民のニーズに合致するように、路線の統廃合等を今後検討していきます。
丹波地区	21	上豊田住民センター	保健福祉課 医療政策課	町全体を病院と考えているとの話は共感できる。日本一の町をつくってほしい。	スウェーデンは23年かかって福祉の国となりました。丹波PAは子供・孫の時代を考えて計画をしています。福祉は大変大事なことで考えています。	当日回答のとおり
丹波地区	22	上豊田住民センター	総務課	ダンマークは汚点の象徴であるが、どのように考えているのか。解体して形を変え、ハイウェイオアシスの京丹波モニュメントとしてはどうか。	-	老朽化が進み対策を講じる必要がある認識ですが、解体には多額の経費が必要となることから、財源の確保に向け関係機関と引き続き調整を図ってまいりたいと考えております。
丹波地区	23	清涼館	企画政策課	町営バスに対する福祉対策。	-	保健福祉課や関係機関、団体等といっしょに今後検討していきたい。
丹波地区	24	清涼館	教育委員会	学校児童の安心安全確保のため、防犯ブザーの活用。	-	現在、小学生はPTAのご支援などにより、全員が持っております。また、関係機関から通報される不審者情報などは、即座に学校へ通報し、周知を図っているところであります。
丹波地区	25	清涼館	産業振興課	町営のファミリーオートキャンプ場設立はどうか。子供中心の町おこしで、運営側にシルバー人材を利用。エコ・安心安全の野菜、シカ・いのしし肉のバーベキューなど。	-	ご提案のことも含め観光施設のあり方を検討し、観光振興施策を推進していきたい。
丹波地区	26	富田公民館	企画政策課	バスの交通費の赤字解消について、回数券の発行、ポイント制度を検討されてはどうか？	-	アンケート調査等実施しますので、町民皆さんの意見をお聞きしニーズを把握していきたい。
丹波地区	27	富田公民館	企画政策課	また、町から送られてくる封筒に、企業等のCMを入れて広告費にしているのはどうか？	-	封筒広告につきましては、窓口用封筒、文書送付用封筒などがありますが、運用に当たり、広告の開始・終了、また変更への対応を見据えた在庫数の問題、広告主の安定した確保の問題、さらに経費削減及び事務効率化に伴う封筒使用量の減少の観点から、実施については、慎重に検討していきます。
丹波地区	28	富田公民館	全課	町職員は現状の危機感を十分に認識して欲しい。	-	研修等を通じてスキルアップを図ってまいります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

意見提言

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
丹波地区	29	富田公民館	全課	役場に行った時明るい笑顔で町民と接して欲しい。	-	住民の皆さんに不快な思いをしていただくことがないよう、接遇研修の機会をとらえ更に周知していきたいと思います。
丹波地区	30	富田公民館	全課	国への要望はもう少し粘りづよくやってほしい。	-	引き続き国や府などの関係機関との密接な連携を図り、要望に務めてまいります。
瑞穂地区	31	梅田振興センター	企画政策課	CATVを活用してのストレッチや健康づくり体操を放映してほしい。 梅田出身の高畑ことさんが考案した自彊術を普及してはどうか。	自分にあった体操が必要、研究していく。 町づくりの基本は、健康で元気であることが重要である。NHKラジオ体操も誘致してきた経過もある。無料の住民健診を積極的に受診してほしい。 中学校指導要綱にダンスが必修となる。ダンス、体操は重要である。	南丹健康づくり体操の放送を開始しました。
瑞穂地区	32	三ノ宮基幹集落センター	瑞穂支所	今年の冬は豪雪で、お年寄りが家から出られない時があり、町に電話されたら直ぐに来てくれた。有難かった。	そういうことを言っていただいたら、励みになる。	状況に応じて検討してまいります。
瑞穂地区	33	三ノ宮基幹集落センター	全課	超高齢集落が増えてくる。先を読んだ行政をして欲しい。	必ず農村部が見直される時代が来ると思っている。財政面から言うと、人口を多くすることで交付税が増える。人口が増えることを模索している。我々だけでなく、(住み続けてもらうために)家族での話し合いも大切。両面からがんばりましょう。	少子高齢化対策を含め、町内均衡の取れた施策の推進に努めてまいります。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

意見提言

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	34	質美振興センター	子育て支援課	何かにつけて、中央に集まっていく。質美では、今は診療所だけになった。モノがなくなるだけでなく、生きがいがなくなってしまう。「何をやってもあかん」というムードになってしまう。人を増やし、現状維持をしなければならない。昔、青少年活動を通じて、カップルが出来た。婚活について、どのようなことをやるのか？若者が頑張れば、高齢者も頑張れる。生きがいを持てるように、未来が描けるように、行政が婚活か交流事業に取り組んでほしい。	婚活については、先にNHKで富山県の例を紹介していたが、昔ながらの「仲人」の文化を復活させたい。昨年の知事とのわいわいミーティングでそのような要望が出た。町でも要望や提案を受けていた。知事は早速、「婚活ネットワーク」を立ち上げると話された。婚活パーティは、食い逃げパーティになりかねず、本町にはそぐわない。文化としての仲人を目標に、仲人の知恵を集めてネットワークを作っては？と考えている。行政も積極的に取り組む。派手にしても長続きはしないと思う。少子化対策に関連して、出生率が高いのは福井県、また、女性の社会進出も高い。今、準備を進めているファミリーサポートセンター事業は、近所の方に子どもを預けるシステムで、東京都荒川区の例のように、子どもを預けるだけでなく、そこに、お年寄りが集まるなど、みんなの生きがいに繋がっている。婚活支援も同様。本町の出産祝い金、チャイルドシート助成、乳幼児医療無料化など、古典的な少子化対策をまじめに取り組み、継続していくことで、きっとそのまちづくりの効果が現れてくるものと思っている。	婚活支援事業については、今年度は独身男女に出会いの機会を提供することを目的とした「出会いサポート事業」として実施しました。また、来年度以降については、婚活にご協力いただける人材のネットワークづくりについても検討を進めて参ります。
瑞穂地区	35	質美振興センター	住民課	エコ活動の一部として、町全体で廃油収集の取り組みを願いたい。	-	町では、『地域支援事業』のホームページを設け、使用済みてんぷら油の回収に取り組まれている質美振興会の活動を先進事例として紹介しているところですが、住民が主体となって地道に取り組まれてきた活動だからこそ地域に根付き成果を上げておられると思います。そうした活動を広報やホームページ等で紹介したり、公共施設におけるスペースの提供、まちづくり交付金による財政面でのサポートなどによって、活動の広がりを支援していきたいと思います。
瑞穂地区	36	質美振興センター	瑞穂支所	質美小学校を含む施設を町の活性化に生かす提案を住民がした場合、相談にのるのではなく、積極的な提案をお願いしたい。また、財政的な支援もお願いしたい。	-	町有施設等の有効活用については、将来的な運営も含め地域主体で検討され、行政が財政面も含め、支援する方法を検討させていただくことが、今後に必要な取組みであると考えます。また、地域支援事業の観点から、地域の皆様と地域支援担当が一体となって活性化の議論を深めていくことも必要と考えます。
瑞穂地区	37	山村開発センターみずほ	企画政策課	地域支援事業に参加していない地域についても、公平・平等になるよう指導して欲しい。役場OB・OGがいるところは補助金獲得がうまい。地域がよくなっているのか。・国・府から補助金を得る方法を勉強している役場職員はいるのか。	-	地域支援は、振興会単位の住民自治組織だけを支援するのではなく、地域が元気になるように役場職員がともに考え、行動する事業です。各区、各グループでも地域支援担当に相談いただいたらと思います。また、すべての役場職員が担当する業務に関係する国・府等補助制度に精通するように努めています。

平成23年度「町長と語るつどい」まとめ

意見提言

地区	No.	会 場	担当課	内 容	当 日 回 答	担当課補足回答
瑞穂地区	38	鎌谷奥公民館	教育委員会	戦争体験をされた方が皆に自分の体験を語る集まりを持ってないものか。	-	戦争経験世代の高齢化は待ったなし。たいへん良い意見だと思います。社会教育の各事業に組み込むほか、例えば、社会福祉協議会「ふれあい」サロンの場を活用して地域の子どもに体験談を引き継ぐ機会を設定したい。
瑞穂地区	39	鎌谷奥公民館	住民課	休耕田が多いので草刈条例を徹底してほしい。特に都会へ出ている家。	-	苦情があった空き地については、町で当該土地の所有者を調査し、条例に基づき町から電話や文書による指導を行っています。対応していただけない所有者や所在不明などにより連絡がとれない所有者もあるのが現状です。
瑞穂地区	40	妙楽寺公民館	企画政策課	瑞穂地域(三ノ宮地域)に的をしぼった事業の説明・懇談が出来ればいいのではないか。全集落を対象につどいを開催すべきである。検討されたい。	-	できるだけお伺いする地域の様子についての懇談となるよう対象区を設定しています。全集落で開催するのは、困難だと思いますが、こまかく回らせていただき参加しやすい環境を作っていきたいと考えています。
和知地区	41	和知ふれあいセンター	産業振興課 和知支所	林業大学校の学生の住居に関して、関電事務所跡があいているが、改修して入居してもらうことはできないか。	状況がどうなっているか分からないが、ご提言として受け止め検討したいと思う。林業大学校については、和知の皆さんにお育て願いたいという思いで誘致した。	開校を前にして、学生の下宿先を募集しています。ご協力していただける方があったら、情報の提供をお願いします。
和知地区	42	広野公民館	総務課	台風12号の被害はなかったと思うが、避難について防災の見直しをしてほしい。区長さんだけ、町だけ、職員だけしか知らないではいけない。それぞれの災害に対しどの場所に 避難すべきか、対応を真剣に考えてほしい。CATVに文字告知で流すなど、周知徹底を。	-	京丹波町地域防災計画に基づき、的確に防災対策を進めていきます。万一、避難が必要になったときは、町消防団と連携を図り、CATV、防災行政無線(和知地区)、広報車による住民への周知徹底を図ります。

平成23年度町長と語るつどいまとめ



編集・発行／企画政策課